京城日報
朝刊
發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 合資會社京城日報社
印刷人 高宮太平

行刑、檢察權強化
上海に高等法院、檢察署新設

【南京一日同盟】上海租界回收に伴ひ中國が外國との間に結んだ租界法院協定は過般の外交部聲明によつて効力を失ふことになつたので、國民政府は今回上海の租界の高等法院分院ならびに特法院を整理統合して上海高等法院を設置するほか、高等檢察署を新設、さらにその下に上海地方法院および地方檢察署を設置することに決定、右人事とゝもに卅一日同政府行政部より次の如く發表した

上海における司法機構は租界の設定により奇型狀態に陥つたが今回兩租界の回收を期として司法行政部は さきに 外交部より聲明された共同租界とフランス租界の中國法院設置協定廢止に追隨し、上海における司法機構を根本的に改革することになり從來の功二、功三兩分院ならびに特一、特二上海法院などを全部改組し上海高等法院、高等檢察署をそれぞれ設置することになつた、從つて從來兩租界檢察官局が代行してゐた檢察權は新設の檢察署に移管され、また上海における外國籍辯護士にして司法行政部の許可證を所持せるものは當分中國の法令に遵ひ、本國を代表して上海地方法院においてその職權を行使することが出來る、なほ新設の上海各院々長および檢察署長の人事左の如し

上海高等法院院長 徐維震
高等檢察署檢察長 胡貽穀
上海地方法院院長 趙鉦鏗
地方檢察署檢察長 陳秉鈞

平和と建設こそ わが建軍の大精神
感銘せよ、光榮の徴募
秋山參謀講演速記

寫眞＝壇上に獅子吼する秋山參謀（圓内）と會場を埋め盡した感激の聽衆

一日夜京城府民館に行はれた毎日新報及び本社主催、總督府、朝鮮軍、國民總力朝鮮聯盟、京畿道、京城府聯盟などの後援による徴兵制實施感謝大講演會における大本營陸軍部秋山中佐の講演は左の如し

諸君！半島同胞諸君、二千五百萬の、久しきに亘つて待望せられましたところの徴兵制が愈々本日から實施せられることに相成りました、京城はもとより半島の津々浦々に至るまで湧き返るやうな感激の裡に記念の行事が執り行はれるといふことを承知致しまして私も亦久し振りに御地に參りましたもと致しまして非常なる感激を覺える次第であります、このことは實に半島同胞諸君が如何に日本人たるの道を理解し、またその道を身をもつて實行せんとする熱意に燃えて居られるかといふことの實證であります、私は本日あの多數の民衆をもつて埋められた感謝決意掲揚大會に臨みまして、青年男女諸君の歩武堂々たる分列行進を眼のあたりに拜見し、思はず私の目頭には熱い涙が浮かんで來たのであります、私は

陸軍 の將校の一員としまして内地から參りました國民の一員と致しまして、この感激をうけとりましたことはなんと表現致してよいか分らぬほどの有難い、力強い心持ちに打たれたのであります、しかしながら諸君、私はこの感激の坩堝の中にをりながらも靜かに心をひそめ、また深く深く自らを顧みるべき重大なことが幾多存在するもののやうに考へるのであります

それは何か、先づ第一に半島に對して徴兵制の實施を許させ給うた大御心に深く心を致すべきであります、抑々世界に國をなすものはその數甚だ多しと雖も、またそれらの國々に於いて徴兵制を實施し、軍隊を貯へ、これを訓練し、事ある時にはこれをして戰闘の事に從はしめる、これは敢て異とし ないのであります、しかしながら世界の國々が類々として、次々として徴兵制を布きつゝあるこの狀態に於きまして、我が國の兵役制度を愼重に檢討致しますならば、その間に吾々はたゞ思ひ留ることがあるやうに考へるのであります、一體各國が兵を貯へこれを訓練し、その國境に外敵の侵入を防がうとする所以のものは何を目的とするのでありませうか、これはいはずと知れた外敵に對して自國の民族の安寧を圖り、自國内に生存する個人々々の福利を守らうとする所以であります、いはば民族ならびに個人の利害關係を守るための軍隊であります、極端にこれを申しますならば軍隊といふものは

算盤 勘定の上に立つものであるといふことが出來ると思ふのであります、斯くの如き利害打算の上に立つ軍隊が一度四隣の外國を壓するやうな勢ひをもつことがありましたならば、その軍隊を有する國は遠慮會釋もなく今度は積極的に國境を越えて他國の中に押し入りまして恰も強盜的手段を用ひて他國を侵略し、その利權をひきさらつて行くことにつとめるのであります、これを帝國主義と言ひます、然らば軍隊は侵略主義、帝國主義の手段であり、その手先であります、これは從來の世界の歴史が然りと答へるところのものであります

然しながら大日本帝國の軍隊に於いてはさにあらず、我が日本の軍隊に於いては決して侵略主義にあらず、強盜的手段を用ひて他國を侵略し、他の民族を亡し他の民族を壓迫するが如き、斯くの如き軍隊に非ずといふことが斷言出來るのであります、我が軍隊は皇國外に出動致しまして、さうして赫々たる武勳を奏したのでありますが、そのいづれの行動も未だかつて、少くとも明治天皇の聖代以後に於きまして侵略なりと言ひ壓迫なりといふ ことが出來ませうか、この點は諸君に於いては飽くまで冷靜な考慮を拂つて戴きたいと思ふのであります、即ち我も敵も共に必死となつて戰ひつゝあるこの戰爭のさなかに、我が方の戰爭目的は極めて判然として天日昭々たるものがあるに拘らず、未だにアメリカもイギリスも第一線に於いて我軍の俘虜となるところの將校も兵隊もなんのために戰ふかを知らざるものが如何に多くあるかといふことを、否殆ど敵の總てといふものは何のために 戰ふかを 知らず、自國の戰爭目的を知らないやうな斯くの如き低級な

劣惡 なる者の滿ち〱てゐることを知つてゐるのでありますが、我が將兵が一度進む場合には猛然として至るところ撃破せざるはないのでありますが、一度その兵を止めるに當りましてはあの南方の廣大なる地域或はマライ、或はスマトラ、ボルネオ、ビルマ、このやうな廣大なる地域におきまして如何なる原住民と接觸を行ひつゝあるか、我將兵が駐屯するところ南方の山も川も、初めて生々とした色を取り戻すのであります、こゝに住むところの住民達は初めて自由と安樂の顔色に立ち返るのであります、日本の兵隊さんがやつて來ると子供達が元氣になり子供と犬が淋しくなる、これは純眞な土人達が歌に歌つて我將兵の純眞無垢なる且つ平和なる態度を賞め讚へたものであります、マライの住民達は申しました

今まで我々の子供達がこんなに生々と、こんなに樂しさうに遊びさうな顔色をしたことは未だ曾て見たことがない、みんな日本の兵隊さんのお蔭であります（拍手）

さういふやうにいつてゐる、一度起ち上りますや、蹶然として當るところ英米の蠻兵を撃破する、一度戰ひの鋒を休めますや至るところに純眞無垢なる子供達と遊び戯れ、また原住民を相手としてまるで自分の兄弟に心服する次第であります、これは一體なにを示すのでありませうか、日本軍は平和を求めんがために戰ふものにあらず、破壊せんがために戰ふものに非ず、戰はんがために戰ふものにあらず、平和を齎さんがために戰ふところのものであります

この大精神が將兵の一人々々の、その精神の中にしみ込んでゐるからであります、これこそ私は畏れ多くも致しまするが日本の

國是 であります、日本の精神であります、大なる平和と齎いて大和魂であります、而して、これこそ又顯現するところ畏れ多いことでありまするが、我大御心の顯現であらうと思ふのであります、日本の兵隊は決して取らんがために——國を取らんがために——他からものを取らんがために戰ふものではありません、日本は取るがために戰ふに非ず、日本が戰ふのは他に與へんがためであります（拍手）

私はこれは斷乎として言ひ切ることが出來ます、斯くの如き軍隊が世界の歴史創つて以來嘗て存在したでせうか、如何なる軍隊が他人のために血を流すといふことを肯んじたでせう、あの文明の度の低い、色の黒い、南方の諸に號つた民族達のために、このやうな原住民達のために喜んで自分の命を捧げるのであります、喜んで自分の命を投げ出すのであります、之も亦私が斷言していいふのでありまするが、本當の大御心の顯現である、これこそ日本のためであると信じ切つて彼等は戰ふのであります、いはば他民族のために死す、これは日本民族以外に未だ嘗て斯くの如き戰ひの歴史は斯くの如き事實が現れたことがあるでありませうか、

私はこのことを或る時は支那の新聞記者にいひ、或る時は英米の新聞記者にいひ、斷乎としてこれを主張したのであります、日本の軍隊の強さはこゝにある、たゞ平和を目的として、そして正しき道を進む時に我等は何ものをも恐れないのであります、斯くの如き軍隊に諸君は今後は喜び勇んで參加出來るのであります徴兵と自分の一身を捧る暇なく魂も命も、身體も全部捧げ盡して

大君 に奉るのであります その決意を持つものにして初めて軍隊の門を潜る權利があります、名譽が與へられます、私はこの立派な世界に冠たる日本の軍隊といふものが如何なる重大なる意義を持つものであるかと言ふことを皆さんに熟と理解して頂きたいと感ずるのであります、否、これは軍隊だけとは申しません、これは日本の國是がさうであります、現在の大東亜戰爭の如き決して攘奪のために行つた戰爭ではありません、否、未だあらゆる戰爭がさうであつたやうに今回の戰爭においてもアメリカを仆してその繁榮を奪ひ、これから弗東の繁榮を多數の船に積んで日本に持つて來ようといふやうな淺間しい戰略戰では御座いません（つゞく）

沸る"皆兵"への感激
秋山參謀、府民館で獅子吼
本社主催
徴兵制實施記念講演會

『大君の御楯となつて銃をとり劍を揮つて鬼畜米英の醜敵に戰ひ得ることは男子の本懐これに過ぎるはない、今回半島に徴兵制が施行され半島同胞齊しく血沸き肉躍り、既に第一線の空を睨んで早くも勇躍してゐる眞姿をみて欣快に堪へない…』と叫べば急霰の拍手は堂に滿ち、聽衆の頬は紅潮して感激と歡喜にいつまでも拍手の嵐は消えない、半島青年が召される徴兵制の歴史の日、八月一日午後七時から開催された本社と毎新報共催の『徴兵制實施記念大講演會』は劈頭から感激の拍手に終始したのだ、銘記すべきこの夜の講演を聽かんものと老いも若きも徴兵に勝るとも劣らぬ意氣で府民館に押し寄せて長蛇の列を作り會場たる府民館には婦人の姿もみられ健民強兵に緒ひ起ちの意氣を思はせた、立錐の餘地もない聽衆を呑んだ會場では定刻七時、國民儀禮を行つたのち大本營陸軍部參謀秋山邦雄中佐の颯爽たる姿が壇上に現はれゝば聽衆は一しきり鳴りもやまぬ拍手で迎へる

秋山參謀は『一億決戰に參加せよ』と題し『帝國臣民としてこの聖戰に奮闘することは千載一遇の光榮である、諸君等も銃を執り直接參加することが出來ることになつたのだ』と熱辯を揮へば、またく拍手は場内を壓し無慮三千の大聽衆は皇軍の『つはもの』になれる興奮に欣喜雀躍したのだ、秋山參謀の大獅子吼は約二時間に亘り銃後に深い感銘を與へ同九時講演會を終つた

寫眞＝壇上に獅子吼する秋山參謀（圓内）と會場を埋め盡した感激の聽衆

敵機廿二を撃墜
伊軍司令部 戰況を發表

【ローマ卅一日同盟】イタリー軍最高司令部は卅一日正午次の戰況公報を發表した

反樞軸軍は增援部隊と空軍を增強して卅一日シチリヤ島における樞軸軍陣地に攻撃を加へたが、樞軸軍は頑強に善戰を續けてゐる、反樞軸空軍は卅日ラヂオ地方を爆撃したがイタリー軍戰闘機は直ちに出動、反樞軸空軍のうち四發機四、双發爆撃機二を撃墜した、さらに樞軸空軍はサルジニヤ島、シチリヤ島並にギリシヤ上空において米英兩國空軍十六機を撃墜した

遺棄屍、捕虜五千餘
冀察戰區の敵潰滅
第廿七軍撃滅作戰々果

【北京特電】北支軍は七月十日以來南部太行山脈に蟠踞を保つ冀察第廿七軍に對し殲滅作戰を展開中であつたが、一日午後三時その戰果を次の如く發表した

遺棄死體一三七一、捕虜三六八六、投降二一六七、迫撃砲一七、重機一八、輕機九八

なほ廿七軍は中央直系軍にして華北に於ける重慶軍中最も優秀なる戰力を誇示してゐたが、一度皇軍の鋭鋒に直面するや山間に分散し多數の餓死者を續出する有樣で捕虜中には幹部多く戰力低下を物語つてゐる、特に本作戰で注目すべきは第一線戰區長官隷下又は麾下廿七軍の慘狀を目撃しつゝ援助をなし得ず拱手傍觀のほかなきは重慶陣營の腐敗氣運横溢と我が對支施策浸透の影響深刻なる證左である、共產軍は本作戰を機として漁夫の利を占めんとして敗走中の廿七軍を追躡、之に打撃を與へ中共合作の裏面を暴露したことである、かくて今や冀察戰區は完全に潰滅し去るに至つた

上海共同租界きのふ接收式擧行

【上海一日同盟】七月卅日の佛租界接收に引續き上海共同租界の回收式は一日午前九時半より工部局參事會々議室で擧行され、ここに全市の外國租界は完全に解消、新生中國の領土主權の完成は輝かしい成功を收めるに至つた、この歴史的式典はわが谷大使、田尻公使その他各國來賓參列裡に岡崎參事會議長起つて租界還附の挨拶を述べ、還附に關する文書を陳市長に手交、これを接收した陳市長は租界還附に際しこの日本側の積極的協力援助に對し感謝の意を表し

租界回收後の上海經營に關しては萬全の措置を講じ、市政の向上進展を期したい

との力強い答辭を述べ、ついで褚中央特派使節、田尻公使の祝辭があり、終つて一同祝盃を擧げて新生上海の前途を祝した、ついで國旗掲揚式に移り陳市長は工部局の屋上高く青天白日旗を掲揚した、かくて接收式は滯りなく終り正午過ぎ一同メトロポール・ホテルにおける岡崎前工部局參事會議長主催の午餐會に臨んだ

獨攻勢に轉ず
ドネツ戰線

【ストツクホルム卅一日同盟】モスコー來電によればドネツ戰線ボロシーロフグラード西南方地區の獨軍は卅一日兵および戰車群を繰出して突如猛攻撃を開始、赤軍主力陣地一帶にわたり大機動戰が展開されたといはれる、ソ聯情報局は卅一日の公表で『獨軍の攻撃を撃退した』と報じてゐるが、前線報道によれば獨軍の攻勢は熾烈を極めて數地點ですでに強力な楔を打込んだと傳へられる

英の最新鋭空母大破

【ベルリン卅一日同盟】D・N・Bの報道によればシチリヤ島作戰に參加した英國空母イラストリアス型一隻は過去數日間の戰闘で大破し目下有力な驅逐艦の護衛下にジブラルタル港に向け曳航されてゐるといはれるイラストリアス級空母は一九三九年に竣工した排水量二萬三千トンの最新鋭空母である

伊政府、政治犯人の釋放開始

【ローマ卅一日同盟】ステファニー通信社の報道によればイタリー政府は早くも國内政治犯人の釋放および外國亡命中の政治犯人の召還を開始してゐるが、そのうちにはファシスト黨を誹謗したためパリ市で投獄されたギド・デ・ルグロ教授なども含まれてゐる

奏任登用の途開く
半島訓導優遇令きのふ公布

次代の國民育成の重責を完遂しつゝある國民學校教員の劃期的優遇案たる朝鮮公立學校官制及び高等官官等俸給令中改正の件が一日附を以て公布された、從來半島に於る初等學校訓導は判任官を以て遇せられ昭和四年、同十六年と再度に亘る優遇案の結果奏任官待遇者約一千三百名を得たが、奏任官待遇者は依然身分においては判任官であり、專ら名目上の優遇に止つてゐたものを今回の改正により學校長を官名としたほか、學校長を奏任又は判任とし、訓導についても教頭たる者及び功績者は奏任官本官となし得る措置が講ぜられたのである、これにより現在學校長たる訓導は辭令を用ひず學校長に任ぜられ、奏任官待遇者そのまゝ奏任本官となり年俸を下賜されることになつた、この劃期的優遇令實施につき大野學務局長は一日次の通り談話を發表した

大野學務局長談

半島に於ける初等學校の訓導はその地位の重要性に鑑み内地と異り併合以來本官たる判任官の官吏として今日に至つたのであるが、昭和四年これが優遇を圖る爲學校長たる訓導にして功績ある者は奏任官の待遇を受けしむるの途を開かれ、更に昭和十六年國民學校制度の實施せらるゝや學校長たる訓導のみならず教頭たる訓導をも奏任官の待遇と爲し得ることと爲り今日全鮮約一千三百名の奏任待遇者を見るに至つてゐるのである、然し之等從來の奏任待遇者はどこまでも奏任官の待遇であつて判任官たる身分に於ては何等變るところなく、專ら名目上の優遇に止るの憾があつたのである、然るに時局の進展に伴ひ且又國民教育の本質上からも國民學校教員の責務は誠に重大なるものがあり、殊に徴兵制度の實施に備へ、半島に於いては國民學校教育に期待するところ極めて大である點に考へ、内地に於ける國民學校教員の優遇と照應して根本的な待遇改善を斷行するの要を認め關係勅令の改正を行ふ次第である、今回改正せられたる要點に付其の概要を述ぶれば次の通りである

（一）學校長を官名と爲したること 從來國民學校の學校長は官名でなく訓導から補せられることとなつて居り身分上訓導たる者が學校長の職務を行ふの制度であつたのを改め、新に學校長なる官名を設けることとしたのである 而して必要に依り學校長が訓導を兼任して兒童の教育に從事するのであるが、朝鮮に於ては國民學校の實情並にその教育の本質に鑑み實際の運用上に於ては總ての學校長に訓導を兼任せしめる方針である

（二）學校長を奏任又は判任とし訓導に付ても教頭たる者及び功績ある者は奏任と爲し得ることと爲りたること＝從來の制度では訓導は判任官であつてその中學校長又は教頭たる者にして功績ある者に限り奏任官の待遇を受けしめ得ることゝなつてゐたのであるが、今回の改正により前述の如く學校長を官名とすると共にその身分を奏任又は判任として奏任本官と爲し得ることとし、その官等も從來奏任待遇者に與へられたるものより一等を引上げて高等官四等乃至八等とし、更に功績顯著なる者は特に高等官三等に陞敍し得ることゝなつたのである、又訓導たる者も教頭に補せられてゐる者若は功績ある者は學校長と同樣奏任本官と爲すことが出來るのであつて此の場合の官等も從來奏任待遇者に與へられたるものより一等を引上げ、高等官五等乃至八等とし更に功績顯著なる者は特に高等官四等に陞敍し得ることゝなつたのである

以上の如く學校長も訓導も奏任本官とするの途が開かれたのであるが、奏任官たる學校長及び訓導はその俸給に於ても奏任官として正規の年俸を下賜されることゝなつた、從來奏任待遇を受くる者もその本官が判任官たる關係上判任官の俸給を給せられてゐたのであるが今後は奏任本官となるのであるから當然奏任官として正規の年俸を下賜される譯で、奏任の學校長は師範學校及び中等學校の教諭等と同樣高等官官等俸給令の第二號表に依る年俸を下賜せられ、奏任の訓導は濟生院主事、道立醫院事務官等と同樣高等官官等俸給令の第三號表に依る年俸を下賜されることゝなるものである

（三）經過的措置としては（イ）現在學校長たる訓導は別に辭令を用ひず、そのまゝ學校長に任ぜられ現在勤務してゐる國民學校の學校長となり（ロ）右の中現に奏任待遇を受けてゐる者はその待遇官等と同じ官等を以て奏任本官となり現在受けてゐる月俸の額の十二倍に相當する額の年俸を下賜される、加俸を受ける者は上記の年俸を受くる間は從來通り判任官と同率の加俸を支給されるのである、而して次に昇給する際には勿論高等官官等俸給令の號表に依る正規の年俸を受け加俸も奏任官並となるのである、以上の關係は現に奏任待遇を受くる教頭たる訓導に付ても同樣である

興農金庫理事長發令

【新京一日同盟】滿洲國政府は八月一日開設の興農金庫正副理事長を一日附で次の如く發令した

興農金庫理事長を命ず 滿洲中銀理事 笠井國[illegible]
興農金庫副理事長を命ず 滿洲林業理事 郞任元

社説
徴兵制感謝獻金に期待す

一

大君の醜の御楯と出でたつの光榮に輝く半島、まこと今日よりは顧みなくての感激に打ちふるふ二千五百萬同胞は、八月一日朝鮮神宮を初め全鮮各地の神社神祠の大前に於いて感謝奉告祭並に必勝祈願祭を執り行ひ、續いて感謝決意掲揚大會を擧行し、今ぞ神兵を生み出す半島の山河は榮光に輝き、いよいよ撃ちてし止まむの意氣は天に沖して殉國の至念一色に塗りつぶされてゐるが、このことたる全く大御代の榮えといふべきである。

二

この感謝この感激は、心意の世界だけのものではすまされない。何らかの形において具象せられずにはゐられない。それは慾に『ほんの心ばかりですが何かのお役に立てゝ下さい』との獻金となり、その八月一日を待ち得ずして早や軍部を初め總督府、總力聯盟、本社並に全鮮本社支局に殺到したのである。この全鮮に亘る感謝獻金の澎湃たる姿の中に、我等はその感謝感激の如何に純粹熾烈であるかの眞姿をまざまざと見せられるのである。

三

ある銀行に於いては、全鮮七十箇所の本支店半島人行員九百名醵起して『少額ですが、私達の意氣をお汲み取り下さい』と、また半島人側府會議員廿四名が醵つて『多年の宿望達せられましたのは、實に一視同仁の皇恩の賜です。此無上の光榮に對する感謝の微衷をこゝに』といふ。かく相寄り相集つての無上の感謝を獻金に表示したる姿に、我等は愛國の熱意によつて一丸の逞しき力が感ぜられるのである。もし學校にしても、官廳にして、はたまた會社、銀行、組合等各々のまとまりに於いて、かやうに下からなる獻金の盛上る表示がとらるゝならば、世紀の美擧といふべきである。

四

如上に加へて、これまで持ち込まれたる獻金の事例の中に『わたくしは先年男の子を亡くしました。せめてその亡き子の分としてこれを捧げさせて頂きます』との老母があり『僕は六年生です。大きくなつたら日本軍人になれることになつたことが嬉しくてたまりません』との少年があり、『幼い弟が二人ゐます。二人の弟に負けないやうに私も頑張ります』との少女があるなど、我等はこれらの凝ぐましき獻金に心から敬意を表せざるを得ないのである。獻金額は問ふべきではない。至純なる眞情に皇國への熱誠の比重を感ずべきである。

五

かくて、この世紀の感謝感激の獻金として全鮮の津々浦々を蔽ひ、その醵出が相當の額に達するならば、これによつてけふのこの歴史的盛事たる徴兵制施行の記念として、何らかの一大事業が企畫さるべきである。而してこの國民皆兵の聖響、皇軍の一員に列するの感激は、永久に記念されてよいのである。而してその記念事業の運營が、半島徴兵の大使命遂行の上に貢献力として寄與し偉大なるものあるを今より期待して已まないのである。

洗顔 ナリスクリーム
お肌の活力を高める強力な淸淨洗顔クリーム 化粧入浴に
會陽化學研究所

少女の友 八月號
座談會 農村に働いた經驗を語る…生活學院生徒
座談會 家について…穗積重遠博士に訊く
戰ふ京都の女學生 府立第一高女 嵯峨野高女 舞鶴高女 ・内山基・
傳統の京女學生も決戰下にどう變つたか、本誌記者の訪問記。
私達の研究室から 都立第十高女・惠泉女學園
日本に學ぶ私達 マライ・タイ・支那在日少女
女學生の言葉づかひ 石黒修
口繪 南の海に羽ばたく 海軍報道班員 佐藤敬
グラビヤ みんな泳げ…都立第四高女 一機も逃さず…陸軍防空學校
長篇 若い手…舟橋聖一 命のかぎり…大池唯雄 青空より青く

大阪商船參與・日東汽船專務 平井好一著
世界變革の大戰と海運
B6判約四八〇頁 口繪寫眞六頁 實價三圓廿六錢
新刊
大東亜戰の勃發と共に、わが國海運界は一大飛躍の時機に直面し、船舶の重要性を一段と高めて海運の大擴充を必至ならしめるにいたつた。この時に當り、本書は現世界戰局と海運並に戰後世界經濟再建と海運との關係につき、著者が日頃の蘊蓄を傾けつくして論述した極めて價値ある著述であり、戰時下一般國民の必讀すべき好著である。
八月發賣 下旬予定
近刊豫告 陸軍中將 酒井鎬次著 戰爭類型史論 B6判約五三〇頁 寫眞多數挿入 折込地圖三枚
東京・芝・新橋 振替東京八四〇二 改造社

聖戰畫帖 戰ふ東條首相
現畫壇の大家廿七氏執筆
小田俊與編・著 監修 陸軍少將 石井虎雄閣下
B五判厚表紙 彩色刷六四頁 價二・八〇 〒・二〇
大東亜決戰下、眞に超人的陣頭指揮に眞敢闘せられる東條首相の盡忠至誠の眞姿を顯映し、之れと呼應して米英撃滅の聖戰に挺身する我が國民の涙ぐましき協戮の有樣を描き、國民精神の昂揚と子女の教材に資する感激聖戰畫集。
各家庭に贈る記念畫帖
東京本郷 博文館 振替東京二四〇

東京國民學校水泳聯盟編 新準要項據 水泳讀本 實價〇・五五 〒・一五
盛夏の教育戰陣訓
國民學校の新建設 東京第三師範主事 寺門照彥著 價二・五〇 〒・二〇
自然の觀察 指導の記録 文部省科學官 菅井準一序 價二・〇〇 〒・二〇
國民學校 師道論 東京第一師範教授 草場弘著 價二・〇〇 〒・二〇
新刊 皇國青年の使命 男爵法學博士平沼騏一郎題字 中野八十八著 價一・五〇 〒・二〇
新刊 戰時青年の進路 白木屋取締役社長 山田忍三著 價二・〇〇 〒・二〇
新刊 現代青年の覺悟 陸軍大將鈴木孝雄推薦 陸軍少將小住七五三著 價一・〇〇 〒・二〇
東京都小石川町一〇七 振替東京五五八七七 淸水書房

ビルマ米英に宣戰

英の侵略斷乎排撃 大東亞戰即應の態勢

【東京電話】ビルマ國は八月一日をもつて獨立を宣言し直ちに米英に對し宣戰を布告したが帝國政府は即日同國を承認し之と同盟條約を締結相提携して大東亞戰爭の完遂と大東亞建設に邁進する日本、ビルマ兩國の不動の體制を確立した

日緬、固き契り 同盟條約の歴史的調印

情報局發表（八月一日九時）『ビルマ』は本八月一日獨立を宣言し、直ちに米英に對して宣戰せり、帝國は同日同國を承認し特命全權大使澤田廉三をして『ビルマ』國內閣總理大臣『バー・モウ』との間に日本國『ビルマ』國間同盟條約に署名調印せしめたり

條約要旨

日本國『ビルマ』國間同盟條約
大日本帝國政府及『ビルマ』國政府は日本國政府が『ビルマ』國を獨立國家として承認したるに因り、兩國は相互に其の自主獨立を尊重しつゝ各國と緊密に協力して道義に基づき大東亞における共同の建設を行ひもつて世界全般の平和に貢獻せんことを期し之が障碍たる一切の禍根を芟除するの確乎不動の決意をもつて左の通協定せり

第一條 日本國及『ビルマ』國は大東亞戰爭完遂の爲軍事上政治上及經濟上有らゆる協力をなすべし

第二條 日本國及『ビルマ』國は大東亞各國の共榮を趣旨とする自主的發展及大東亞興隆の爲の共同の建設に付相互に緊密に協力すべし

第三條 本條約の實施に關する細目は必要に應じ兩國當該官憲間に協議決定せらるべし

第四條 本條約は署名の日より實施せらるべし

共同の宿敵撃滅 政府聲明

本一日ビルマは獨立を宣言し即日米英兩國に對し宣戰を布告せり帝國は直ちに同國を承認し之と同盟條約を締結し大東亞戰爭の完遂と大東亞の共同建設の爲緊密に協力すべきことを盟約せり、顧みるにビルマはイギリスの壓制下に呻吟することすでに百有餘年茲にその宿望を達成し獨立の榮を擔ひ今や敢然起つて帝國と共に米英擊滅の共同戰爭に起つ、之萬邦をして各々その所を得せしめ兆民をして悉くその堵に安んぜしめる皇國の大精神に基づき東亞積年の禍根を芟除して新秩序の建設を期せんとするは帝國の同盟揺ぐ能はざるところなり

今や滿洲國はその國力を擧げて帝國の戰爭遂行に協力し中華民國ならびに『タイ』國はすでに帝國と完全なる協力の下に共同戰爭の完遂に邁進しつゝあるの秋、こゝに又『ビルマ』國の獨立成り、參戰を見るに至り大東亞の結束いよいよ固きを加へたり

帝國は是ら各國との提携をいよいよ緊密にし歐洲における盟邦と相呼應して共同の宿敵米英を擊滅し、もつて道義新秩序の建設に邁進せんことを期す、茲に帝國政府の所信を中外に闡明す

樞軸、中立國に通告

【ラングーン一日同盟】ビルマ國政府は獨立手續きの完了をまつて一日午後三時卅分バー・モウ國家代表の名をもつて日本を初め獨、伊、滿洲國、中華民國、泰、ハンガリヤ、スペイン、ルーマニヤ、ブルガリヤ、スロバキヤ、クロアチヤ、フランス、ソ聯、トルコ、フインランドの樞軸ならびに中立國に對し獨立通告を行つた

反英運動激化

【昭南一日同盟】ビルマはつひに自由の永きにわたる屈辱の歴史を終り、輝ける獨立國家として新生した、印度獨立の鐵の指導者チヤンドラ・ボースは昭南において英國は日本のビルマに對する意圖に關し諸種のデマ宣傳を行つてゐるが百千のデマ宣傳も一つの事實の前には徹底的に粉碎されよう、すなはち英國が最も恐れてゐるところはビルマ獨立が事實となつて全四億のインド民衆に知られ、印度民衆の耳に響き心を通じてかれらを勇氣づけ今後ますます活潑なる獨立鬪爭の展開が期待される、さらに日本が大東亞戰爭を遂行しつゝあるとき敢然ビルマの獨立を許容したことは狡猾なる米英兩國が常に亂發する空手形と道義に基く帝國政府の發する約言との間に無限の距離があることを四億の印度民衆は今や事實を完全にしてハッキリ知つた、東條首相がしばしば聲明したごとく

『帝國政府が印度の獨立、印度からの米英の驅逐』

これによつて眞に自由獨立の印度を再現せしめるためにあらゆる援助をなされることである

ビルマ新內閣顔觸

【ラングーン一日同盟】新ビルマ國國家代表は一日午前十一時新內閣々僚（十六名）ならびに樞密顧問（十九名）を左の如く任命即時發表した

新內閣々僚 首相バー・モウ、副首相タキン・ミヤ、外相タキン・ヌー、財務相テイン・モン、國防相オン・サン、商相取相ウ・エ、法相ウ・テイン・モン、教育保健相ウ・ラ・ミン、農相タキン・タン・トン、商工相ウ・ミヤ、交通灌漑相タキン・レイモン、林務相ウ・ラ・ペ、厚生復興相、タキン・ルン・バウ、宣傳相バンツーラ・ウ・セイン、協力相ウ・トン・アウン、土木

樞密院顧問 タキン・コドウ・マイン、サン・シー・ポウ・トウイン、ウ・チツト・ライン、ウ・ツン・ペー、ウ・セツト、ウ・ミヤ、ウ・チヤウ、ウ・エ・モン、モン・モン・ピヤ、ウ・チ・ミン、ウ・ボ・サン、ウ・バ・ライン、ウ・キン・モン、ウ・バ・チヨテ、ウ・テイン、ウ・センウイン、ウ・パテイ、タキン・タ・ディン

閣僚就任式

【ラングーン一日同盟】新生ビルマ國は午前中の諸行事をもつてこの光輝ある獨立を完成し、バー・モウ氏が初代國家代表に就任して一切の國政を總理に任ずることゝなつたが、國家機構は行政機關としての內閣のほかに國家代表の諮問機關として樞密院を置くことになつてゐるのでバー・モウ國家代表は就任と同時に閣僚および樞密院顧問の銓衡に當り午後二時それぞれ任命、發表

日緬緊密化 澤田大使强調

【ラングーン一日同盟】日緬不可分の基本關係を約する日緬同盟條約はわが澤田特派大使とバー・モウ總理との間に滯りなく調印を見たが、席上澤田大使は左の如く條約調印を祝して挨拶を述べた

只今大日本帝國と新ビルマ國との基本關係を律する日本國ビルマ國間同盟條約がビルマ國內閣總理バー・モウ閣下と本使との間に嚴肅に滯りなく調印を終了した、同盟條約の調印に帝國政府は新ビルマ國を獨立國家として承認し、兩國は相互にその自主獨立を尊重しつゝ大東亞戰爭の完遂および大東亞共榮圏の建設のために新たなる協力をなすべきことを明約致したのであつて、兩國のため洵に御同慶にたへない次第である、本同盟條約は兩國間の大憲章であつて兩國關係は今後ますます強化緊密化せられ、相ともに携へて本條約の目的達成に向つて邁進せんことを念願してやまざる次第である

初代大使 澤田氏任命

【東京電話】帝國政府はビルマ承認の一日直後にビルマ大使館創設を決し、澤田廉三氏をそのまゝビルマ駐劄大使に任命、左の如く大使館員ならびにラングーン總領事とゝもに發令した

特別全權大使 澤田廉三
大使館一等書記官兼總領事 北澤直吉
ビルマ國駐劄被仰付（出張中）
任大使館參事官（一）
ビルマ國駐劄被仰付
大使館一等書記官 鳥津久大
大使館二等書記官 平柳誠
大使館三等書記官 番徹夫
外交官補 多井正太郎
ビルマ國在勤を命ず
大使館一等書記官 鳥津久大
兼任總領事（三）
ラングーン在勤を命ず

軍政撤廢 一日布告さる

【ラングーン一日同盟】ビルマの獨立準備はいよいよ完了したのでビルマ方面陸軍最高指揮官河邊正三中將は八月一日をもつてビルマの軍政を撤廢すべき旨左の如く布告を發した

（布告文）昭和十八年八月一日をもつて現行政府の施政地域における軍政を撤廢す
緬甸方面陸軍最高指揮官

嚴肅に獨立式典 バー・モウ國家代表を推戴

【ラングーン一日同盟】新生ビルマ國がその歴史の第一頁を開いた獨立式典は一日午前十一時からラングーン市內祝典式場で嚴肅盛大に擧行された、式典正面には三色旗に孔雀の新國旗が掲げられ、その前面壇上には國家代表を迎へる黃金の椅子が据ゑられ、バンケット下には日緬兩國旗が飾られてゐる廣間にはビルマの各界代表者約二百五十名が色とりどりのロンギー、ガン帽に威儀を正して着席し、二階のバンケットには國家代表バー・モウ氏の夫人、令孃はじめ要人の夫人、令孃たちが美しく着飾つて開會をまつてゐる、式は十一時卅分ビルマ方面陸軍最高指揮官河邊正三中將、つゞいてバー・モウ氏以下ビルマ側要人の入場によつて開始された

これに先立ち十一時より總督官邸內別室において建國議會が招集開催され、ここで右議會が民衆を代表して成立したるものなることを宣言し、終つてバー・モウ氏を先頭に續々として入場し、河邊最高指揮官は幕僚を隨へて正面向つて左側に、ガン帽に白絹の襟衣と白絹襟のロンギーをつけ先に皇國より贈られた一等の大綬章をつけたバー・モウ氏が向つて右側の椅子にそれぞれ着席していよいよ歴史的獨立宣言式に入つた、建國議會議長バー・モウ氏に代つてウ・セイン氏まづ正面壇上に立ち、二百五十餘名の參列者もまた一齊に起立して獨立祝禱の默禱を捧げた、終つていよいよ獨立宣言である、ウ・セイン氏は捧げられた紺色の袋から獨立宣言書を取出しバー・モウ議長に代り朗々としかも感激と感慨とに溢れる音調で一節一節力強く讀上げはじめたが參列者一同も各自に渡された宣言文の刷物を朗讀に從つて讀みながら聽き合ふのであつた、バー・モウ氏は毅然として顎を引き唇を眞一文字に締めて聽き入つてゐる

廿五分にわたる宣言朗讀が終ると正午一旦休憩、河邊指揮官、バー・モウ氏などは一まづ休憩室に退いた、十二時十五分式場正面玄關傍らに控へたビルマ國有の音樂團がビルマ古典音樂を奏しはじめた、これはシドウと稱するビルマの宮廷音樂である、河邊最高指揮官が着席するとウ・セイン氏以下に先導されてバー・モウ氏が絨毯を敷き詰めた中央通路を歩々として正面壇上の紺色燦たる大椅子へ進んで行く、これから國家代表推戴式に移るのである

バー・モウ氏が大椅子にかけると最長老としてタキン・コーダマイン氏が壇上に進み出て恭しくバー・モウ氏を國家代表に推戴する旨を宣言すれば、バー・モウ氏はすつくと起つて聽き入つてゐたが、宣言が終るや就任の宣誓書を三度頂き上に高く捧げた、この時バー・モウ氏の手にはチヤンと稱する聖木が高く握られ、その聖木を三度擧げることによつて彼の誓ひはさらに一層神聖なものとされるのである、バー・モウ國家代表は言葉短かに『余はこの宣誓により宣誓書にこめられたる條件に終始忠實ならんことを固く誓ふものである』と述べ一同起立裡に音樂團の奏する雄壯な國家の曲を傾聽した

奏樂が終ると河邊最高指揮官まづ退席しつゞいてバー・モウ國家代表は參列者一同の祝福を受けつゝ靜かに中央通路より退場し、十二時卅分記念すべき式典はその前半を終了してビルマの獨立と國家代表の推戴はここに全く無事に完了したのである

堂々獨立を宣言す 建國議會直ちに召集

【ラングーン一日同盟】一日午前十時河邊ビルマ方面軍最高指揮官より軍政ならびに行政府廢止の布告、示達を受けたバー・モウ長官は直ちに獨立準備委員會は任務完了によりこれを解散して新たに獨立手續きのため建國議會を召集する旨を宣し斯て建國議會は廿五名の獨立準備委員をそのまゝ議員に選定して成立、午前十一時開會推戴によりバー・モウ議長となり本議會は代表機關である旨を宣言、河邊最高指揮官以下日本軍關係者臨場のもとにバー・モウ議長は嚴たる態度の中に一千六百萬ビルマ國民の名に於てビルマ國の獨立を宣言した、時に午前十一時卅分まさに大東亞の新しき歴史を開く大いなる瞬間であつた、バンドラ・ウ・セイン氏が代讀する長文の宣言を聽く議員たちの感慨は思ふに餘りあるものがある

ビルマ國は日本を指導者とする大東亞共榮圏の一環であり、ビルマ國の國是は道義國家として世界新秩序に寄與せんとするにある

との趣旨を骨子とする長文の獨立宣言を朗讀豐かなウ・セイン氏の感激にふるへる聲によつてラジオを通じて全ビルマ國民に中繼されトーキーに納められた、つゞいて建國議會は獨立準備委員會の起案になる國家構成に關する基本法案審議に移り之を可決した、右基本法は改めてビルマ國憲法が制定されるまでの間ビルマ國の運營を規定する暫定憲法とも稱すべきものである、終つて議會はビルマ國の首班たるべき國家代表の推戴に移り前行政府長官バー・モウ氏を全會一致をもつて正式に國家代表に推戴、ここにバー・モウ氏は新生ビルマ國の初代國家代表者として全ビルマ國民の歡呼をもつて就任したのである

全幅の支持惜まず 東條首相 鐵石の決意表明

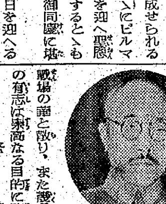
大東亞戰爭勃發するや御稜威の下皇軍將兵の善謀勇戰により忽ちにして米英軍はビルマより一掃せられビルマ內外の情勢は全く一變するに至つた、ビルマ更生回天の業は

急速に進展

しビルマ多年の宿望は大東亞戰爭開始以來僅かに一年有半にして達成せられるに至つたのである、こゝにビルマ獨立の歴史的記念の日を迎へ感慨無量なるに感激すると共にビルマ國のため誠に御同慶に堪へない次第である

本日のこの目出度き日を迎へるまでの間ビルマ獨立のために幾多の志士はイギリスの非人道の壓迫の下に怨を呑んでこの世を去つたのである、皇軍一度ビルマに作戰を開始するやバー・モウ氏以下ビルマの人士はこれらの志士の遺烈を承けて心から皇軍の作戰に協力しビルマの獨立に大東亞戰爭の遂行に日夜挺身の努力を重ねて來たのである

この間幾多忠勇義烈の皇軍將兵は戰場の華と散り、また幾多ビルマの有志は崇高なる目的に殉じたのである、私は茲にビルマ獨立のために仆れたる幾多の志士の遺功を偲び今日のビルマ獨立建設に盡されたるバー・モウ氏以下ビルマ民衆の誠意と皇軍に對する協力とに對し衷心より



東條首相

敬意と謝意

とを表すると共に皇軍將兵の世界に比類なきビルマ作戰の武勳に對し深甚なる敬意と謝意とを表し併せて戰場に仆れたる英靈およびビルマの有志に對し謹んで哀弔の誠を捧げるものである

一國の獨立、殊に永きにわたる桎梏より脫して一國が獨立するとはその例必ずしも多しとしないのである、今日より獨立國ビルマの國民たるの光榮を荷ふことを得るに至つたビルマの人々こそ誠に幸なりといふべきである、然しながら一國が獨立して堂々と成育發展して行くことは固より容易なことではない、將來ビルマ國が順調なる發展を遂げて行くためにはビルマの人々の並々ならぬ努力がいよいよ必要となるのである、然して帝國が今後いよいよビルマ國の興隆のために全幅の支援を加ふべきは、また贅言を要しないところである

今やビルマの獨立もすでになり米英多年の桎梏より大東亞を解放せんとする大東亞戰爭の目的は逐次達成せられつゝあるのであるが、申すまでもなく大東亞戰爭の完勝なくして大東亞解放の完成は期し得られないのである、因より大東亞戰爭の前途には

幾多の困難

を覺悟せねばならぬが如何なる困難もこれを克服し、如何なる障碍もこれを突破して御稜威の下必ず窮局の戰勝を獲得するところに帝國の輝く傳統があるのである

一億國民は大東亞十億民族の中核と成り億兆一心何處までも世界に冠絶せる鬪志をもつて戰ひ抜き勝ち抜かんとしてゐるのであり、大東亞十億の民族はいよいよ結束を強化してさらに大東亞建設の巨歩を進めつゝあるのである、われらに大東亞戰爭完勝の烈々たる鬪志あり、大東亞十億の民族に大東亞解放完成の牢固な結束あり大東亞十億の民族前途まさに洋々たるものありといふべきである

本日こゝに新ビルマ國誕生の日に方り私はビルマ國の隆昌なる發展を祝福すると共にいよいよ大東亞各國、各民族の結束を強化しますます歐洲盟邦諸國との

提携を緊密

にして大東亞戰爭完遂、大東亞建設に邁進せんとする帝國鐵石の決意を更めて表明する次第である

東亞圏民族の歡喜 ビルマ獨立に際して 小磯朝鮮總督談

過去數世紀にわたり飽くなき搾取と虐壓の限りを續けた米英の桎梏より東亞十億の民族を解放し、明朗なる新秩序を建設せんとするわが大東亞戰爭の性格は、今回ビルマの獨立により愈々明確に世界に表明せらるるに至つた

今や大東亞戰爭は熾烈なる決戰の樣相を露呈しつゝあるも、その戰爭目的において米英は私利を追及する舊秩序の維持に汲々たるに對し、我は道義日本の世界觀に基き人類共存共榮の新秩序を顯現せんとするもので米英がいかに死物狂ひの反攻を繰返すとも、終局の勝利が天と共に我にあるは必然の歸結であるが、更に大東亞共榮圏の建設過程に見るに既に滿洲國は北邊の鐵壁として磐石の揺るぎなき存在を示し、その他の新興國亦我と同生共死を誓ふ近代國家として燦然たる進展途上にあり、今また南方圏に位置するビルマは米英の執拗なる野望を排擊して茲に皇道日本の指導の下、新獨立國として起ち上つたのである、かくてわが三千年傳統の八紘爲宇の大理想は、着々として大東亞の各地方に顯現されつゝある、吾し東亞十億民族の歡喜と希望今日より大なるはない

しかしながら、ビルマの獨立は皇國日本を盟主とする大東亞共榮圏の一環として新たなる發足の途についたのであつて、盟主日本國民の責務は更に重加せられたものと謂はねばならぬ、時恰もわが朝鮮にありては待望の徴兵制實施せられ、東亞共榮圏の確立に伴ひ、朝鮮がその中核體自體たるの事實を更に內外に確認されたのである、今こそ朝鮮同胞二千五百萬を擧げて國體の本義に徹し、道義朝鮮の確立に努め、物心一體、眞に皇國民として大東亞諸民族に率先垂範、米英擊滅、大東亞共榮圏の新秩序建設に邁進せねばならぬ【寫眞＝小磯總督】

米英打倒の決意 蘭貢、歡喜と感激の坩堝

【ラングーン一日同盟】大らかに明けゆく大東亞の黎明、全ビルマに獨立の榮光燦として輝く昭和十八年八月一日のラングーンはビルマ始まつて以來の歡喜と感激の坩堝と化し全市は終日ドバマの歡呼にどよめき搖れてゐた、雨季には珍しくこの日は空もところどころ晴間を見せ雲間洩る陽光に一しほ輝かしさを加へ金色のパゴダは今ぞ訪れた祖國の獨立を謳歌する如く燦然たる光彩を放つてゐる、一日午前十一時半全世界にビルマ獨立を宣言する歴史的宣言發表と同時に我空軍編隊が全ラングーンに撒布する獨立歡祝のビラと街々のラジオを通じて行はれる獨立宣言により初めてドバマ到來を知つたビルマ人の狂喜と感激に雀躍りし歡聲は歡喜に輝いてゐる、市民の興奮に紅潮した頰に皇道日本に對する無限の感謝と熱火と燃ゆる決意がありありと讀はれる

黄衣の僧侶が拳をあげてドバマと叫べば鼻車を驅る青年も獨立を叫び過去十年待望んだこの日であつたとか、暴英打倒に立つては倒れ、倒れては求めた祖國の獨立が日本の道義にもとづき今夢ではなくこゝに儼として現出したのだ、全國民の感謝と感激と思ふべしである、午後には早くも印製の新國旗三色孔雀旗が街衢にはためきドバマ・ソングの勇壯なメロディーがベンガル灣を壓して響きわたる、ビルマ防衛軍ではこの日を慶祝するとゝもに戰ひはむしろ今後にある旨を強調する各隊長の訓示のもとに堂々市中行進を行ひ獨立の感激と打倒米英の決意をいやがうへにも昂揚させた

有望な棉花 ビルマ國地誌

【東京電話】新發足したビルマ國は共榮圏西の前衞線として印度、泰、佛印、雲南に接し、總面積はわが內地および朝鮮を合したものと略同等の六十萬五千平方キロである

◇……

人口は昭和十六年の調査によれば、一千六百八十二萬で、その大部分がビルマ族で占められ、その他若干の土着民族と印度人（約百萬）支那人（約廿萬）がある、宗教は住民の九割近くが佛教徒であつて、パゴダがこれを象徴する如くビルマは佛教國であり、佛教の影響が物質生活に強く純朴、感激性に富めるビルマ人の性格をつくつた一半の原因ともみられる、また日本人と同一種族の蒙古人種に屬し、生活樣式も日本に類似せるためか、ビルマ人の親日感情は從來想像以上のものがある

◇……

ビルマの歴史は一〇四四年パガン王朝以來二百年餘に亘つて王朝時代が續いたが、一六一二年東印度會社のビルマ進出から英の侵略の魔手が逐次伸び、印度、ビルマ國境紛爭などを口實に第一次、第二次第三次の英緬戰爭により一八八五年英は遂に全ビルマを征服、英領印度の州として編入せられ、ついで一九三七年印度より分離し英總督により統治せられ、英の搾取下に呻吟しつゝあつたが、第一次世界大戰後の民族運動の影響を受け、ビルマにも反英獨立の運動が行はれたが、結局英の壓制に乘ぜられ大きな力をも得ずして大東亞戰爭を迎へた

◇……

經濟事情を見るに、ビルマと米は切り離せない關係にある如く、ビルマ米の生產高は戰前約七百五十萬トンで、このうち輸出力は實に三百萬トンに達してゐる、一方棉花についてもビルマ棉の共榮圏に占める比重にかんがみ五ケ年計畫を樹立、米の棉作への轉換、技術の向上などを促進しつゝあり、わが國からの技術人紡績企業などの指導と相俟つてその將來が期待されてゐる、鑛林資源のうち米についで著名なものはチーク材で、戰前の年產約百萬トン、ビルマ輸出貿易額の重要なる部分を占め、造船材料その他に有效に利用せられてゐる

◇……

地下資源は石油、銅、タングステン、亞鉛などを主とし、エナンジヨン、シング地區の戰前の石油年產は約百萬トンで、東亞圏內における產油國に大きな地位を占め、タングステンはマウチ、タボイの兩鑛山を主產地としてゐる、右のごとくビルマは各方面にわたつて豐富な資源を擁してゐる

上古に復し 徴兵令發布

軍事

御親兵は德川時代の武士とは全く異り、服裝も銃砲も新式で、堂々たるもの、明治五年三月九日近衛兵と改稱して現在の近衛師團となつた、斯くの如く整ふに從つて大村益次郎が主張した徴兵制を布く必要を痛感するに至つた、大村が徴兵制を主張した理由はいろいろあるが四民平等、國民皆兵の太古に返さむと遊ばされる 天皇陛下の有難き大御心を拜察して、その實現に努力したのは見逃すことの出來ぬ事實である、そこで大村の遺志を繼いだ山縣兵部大輔（現在の陸軍大臣）と川村兵部少輔、西鄕從道の三人が連名で『軍事政策徴立』の建議をなした、その後も幾度か制度その他について研究されすべての準備が整つたので明治五年十一月廿八日、明治天皇には畏くも、全國徴兵の大詔を發し給うたのであつた

太政官告諭で明示

維新の大業中でも特に我々がしつかり覺えて置くべきは全國徴兵の大詔と共に太政官（今の內閣）告諭が出たことである、告諭には我朝上古ノ制、海內擧テ兵ナラサルハナシ。有事ノ日、天子之カ元帥トナリ、丁壯兵役ニ堪ユル者ヲ募リ、以テ不服ヲ征ス。役ヲ解キ家ニ歸レハ農タリ、工タリ、又商賈タリ。

と云ふ文字がある、これは明瞭に國民皆兵を示したものであり、武士階級だけが兵權を持つた誤りを示し、百姓も町人も揃つて國の護りに立てるやうになつたのを說明してゐる、翌年の一月十日には正式に徴兵令を發布、その前の一月五日に東京、仙台、大阪、名古屋、廣島、熊本の六鎮臺にわけ、この六地に一つづつ鎮台を設けることが決つた、だから『兵隊さん』と呼ばずに『鎮台さん』とか『徴兵さん』と呼ぶ風が殘つてゐた

當時の常備兵員

明治六年四月に第一回徴兵が入營したが當時の常備兵數は五月に出來た陸軍編制を見ると、全部で三萬一千六百八十人になつてゐた、兵種別は步兵廿八ケ大隊、騎兵二ケ大隊、砲兵九ケ大隊、工兵九ケ小隊、輜重兵六ケ小隊、海岸砲兵九ケ隊、近衛步兵四ケ大隊、近衛騎兵一ケ大隊、近衛砲兵一ケ大隊である

かくして士族でなければ兵になれなかつた七百年間の觀念を打破り、四民平等の權利義務として誰でも五體の滿足な者は廿になれば 天皇陛下の股肱となれる光榮が與へられた、尤も士族には相當不平があつたらしいが、明治十年の西南戰爭では士族が町人や百姓出身の兵に破れ徴兵の眞價が知られた

第一回徴兵珍話

第一回徴兵が入營した時は既に陸軍省、海軍省が分立して兵部省は廢止になり、立派な機構を持つたが初めて入營した者は何をするのか判らず間誤ついたらしい、寢食場へ丁髷で出掛けて檢査官に鋏で切られたり、だらしのない服裝の爲に說諭をとられたりした話が殘つてゐる、一般民衆も士族でない兵隊が珍しく、第一回の通者が安政元年申寅生れなので『寅兵』の異名がついた、兵隊はみな小倉服で六ケ月間は嚴格な教育をし、外出も許されなかつたといふから軍隊の嚴格さは驚異的なものである、六ケ月の教育が終ると東京から各鎮台へ少將の檢閲使が出向き、その上で晴に赤線を一本貰ひ一人前の兵隊になれた、その頃の兵卒の手當は二等卒が一日一錢六厘、一等卒が二錢五厘、上等兵になると四錢四厘だつた、それでも明治初年は物價が安く事は缺かなかつた

西南役には今でこそ骨董品扱ひされるスナイドル銃を擔ぎ意氣揚々と肥後へ進發した、面白いことには、いざ戰爭となると士族では充分の働きが出來ず子供のときから穿き慣れた草鞋に代へ『何が出來るか百姓兵ども』と威張つてゐた士族兵の賊軍に向つて突擊した、このやうな逸話に富んだ徴兵が日淸、日露、滿洲事變を經て七十一年後の今日では南方民族から神兵と仰がれ米英を壓滅しつゝある世界一勇猛な軍隊になつたのは全く古來からの國民皆兵精神が明治維新によつて全國民の胸に甦つた結果である

木船保健組合役員決定

【東京電話】木船保險法に基く木船保險組合は三十日遞信省より正式設立認可があつたので左の如く役員を決定し、卅一日登記をすまし、即日業務を開始した、しかして同組合の機構は總務、業務、經理の三部の下に九課を置くほか橫濱、名古屋、神戸、門司、函館および京城に各支部を設けることゝなつた

▲理事長中野金次郎▲專務理事岸上俊吉▲總務部長（兼任）▲業務部長（理事）金澤寛生▲經理部長（理事）三浦定五郎▲京城支部長（理事）得能正嚴▲門司支部長淺川福太

燃料の一元化 配合肥料日本肥料新制下へ

【東京電話】肥料の重點生產化に伴ひ農林省では今回配合肥料をも日本肥料會社の一元的統制下に置く方針のもとにこれが製造業者ならびに配給統制團體の配合肥料製造業組合（重要肥料業統制法に基き設立）から日本肥料へ移讓せしめ現下の原料ならびに輸送事情に對處することゝなつた

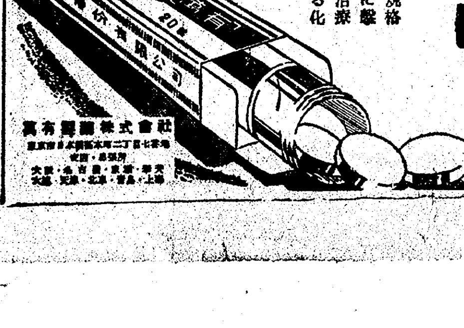
隨想錄

徴兵制は半島にも實施された、今まで多少ともに徴兵制と關聯がなかつたことのために、戰爭への協力に十分でないものがあつたとすれば、これからこそ眞劍になり得る筈である▲先づその手始めは戰力增强のことでなければならぬが、それにはいろいろの方途があり、消費の節約もまた戰力の增强になるのだ▲これは內地での話だが、既に早くから實施されてゐる衣料切符を、國民各自が一層節約することによつて、それに要する資材勞力がどれ程節約されるか▲織布であれば四百四十七萬反、これで落下傘を八十九萬四千作り得るといふのである▲また織布であれば二百二十四萬反の節約が出來て、これで軍服が二百萬着作れるし、この綿布生產に當る紡績工場を廢止することによつて屑鐵一千五百噸、勞務者五千人が得られる▲それだけでなく、棉花を大陸から輸送するに要する船腹や石炭のことを考へると、なかなかに大きい數字となる▲衣料切符制度の行はれてゐない半島では、當然その方に消費される金額の節約は內地以上だと見なければならぬ、從つてその節約によつて生ずる戰力への貢獻はもつと大きく現れて來る勘定である▲徴兵制實施を、軍に壯年への義務だと考へるのは間違ひで、けふの日から半島を擧げて老若男女の全部が、國防の一翼を擔ふ心掛けで、一切の消費を節約して戰力增强に勵み合はうではないか。

證券報國
秋田證券
夜間投資相談部新設強化
午後五時より十時まで御相談に應じます
御都合により御通知あり次第參上も致します
京城府中區明治町二丁目二三番地
電話代表本局②五二五五番

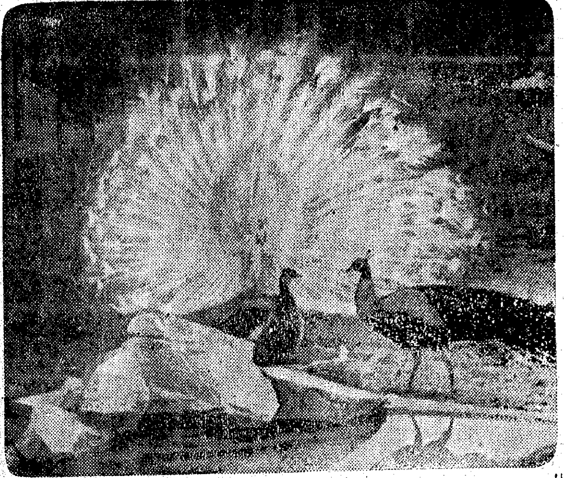
……まちがつた治療法の爲めたら人生を失ふ肺病ロクマク患者よ、早く正しい肺患征服の道によりて治しませう。●お釋迦樣の金言を基礎として大悟した全快指導書『治療の原理』と藥草療法『光明のあなたへ』の二冊の本を、寺から里への徴意として……無料送呈致します。迷ふを止めて今スグこの新聞名を記し左記へハガキをお出しなさい。そして早くこの方法によりて肺患を治して喜びの光明にかがやく日をお迎へ下さい。
肺患
大阪府布施市 功德山 德林寺

淋疾に劃期的新劑の出現
優能 ユーロン 「萬有」
ユーロンは化學療法劑中最高の分子規格を有し內服のみによりて淋菌を完全に撲滅するが故に決定的治淋劑にして全治療界より絶讃を享くるのみならず凡ゆる化膿性疾患に應用して卓効を奏す
適應症 急・慢性淋疾、丹毒、敗血症、中耳炎、扁桃腺炎、乳腺炎、蓄膿症、化膿性疾患
包裝 錠劑 二十錠入 百錠入 粉末 十瓦入 廿五瓦入
商標 萬有 Banyu
萬有製藥株式會社



御挨拶
朝映第一回作劇映畫『朝鮮海峽』ノ上映ニ際シテハ特別ノ御觀賞ヲ賜リ奉深謝候 就テハ八月一日ヨリ朝鮮ニ於ケル世紀ノ祝典タル徴兵令施行祝賀ノ爲同劇出演ノ俳優一同上映舘ノ舞台上ヨリ御挨拶申上候間絶大ナル御聲援賜ハリ度此段奉懇願候
自八月二日 至八月四日
挨拶俳優 金信哉 洪淸子 金一海 文藝峰 金素英 南承民
挨拶時間 明治座 若草劇場 城寶劇場 中京劇場
午後三時五十分……同八時
三時二十分……同七時二十分
三時二十分……同七時四十分
四時十分……同八時
八月一日
朝鮮映畫製作株式會社

現代 八月號 八十錢 大日本雄辯會講談社
西田哲學的俗論 田中忠雄
印度獨立への新紀元・鹿子木員信
戰爭文化の建設・本位田祥男
先哲と思想の道統 佐藤通次 高須芳次郎 諸橋轍次 野見山温 瀨谷義彦 笹月清美
決戰下の映畫・演劇（座談會）井上司朗、井上清一、伊藤宣明、今村太平、齋藤寅郎
海底の採炭作業 現地報告……西谷彌兵衛
昭和政記（濱口內閣時代）御手洗辰雄
創作 黑い瞳……寒川光太郎
戰力增强の焦點 橋本欣五郎、原安三郎、高嶺明達、高宮晋、住田正一



軒昂・新生ビルマを象徴 けふ我が世の孔雀

お午のドンがなつたらとたんに我が世とばかりに悠然燦爛の羽根を擴げるといふ孔雀、百獸の王ライオンの向うを張つて鳥類の女王然と收まりかへつてゐる孔雀、その姿態の美しさと從順な性質とを愛されてゐる孔雀が新生ビルマの新國旗の眞ん中に正に女王の如く收まつたのだ　長い間英國の壓制下に喘いで來たビルマにけふの日、新たに制定されたビルマ國旗は首都ラングーンはもとより各地にへんぽんとひるがへつたと報ぜられたが、この新國旗は黄赤緑の横縞の中央に羽根を擴げた孔雀――黄は佛陀、赤は血で傳統精神、緑は稔豊かなビルマの土地をそれ〴〵象徴してゐるといふ　國旗の中にまでとり入れられた孔雀は日本における櫻の如くビルマにあつては國民精神の標識としてビルマ人の讚仰の的なのだ、美人の多いので有名なビルマ人が温和な性質と美しい姿態を誇る孔雀をお釋迦樣の生れ變りとして破壞するといふのもうべなるかな――孔雀なら京城にだつてゐると早速動物園に駈けたら新生ビルマの特命全權大使とでもいひたげに精一杯一杯あの見事な羽根を擴げて歡迎してくれた、"お目出度う孔雀さん、新生ビルマは僕たちの同志だ"【寫眞＝羽根を擴げた孔雀、一日動物園で寫す】

"み民われ"の誠示さん

半島同胞も輝しく兵に召されるのだ、この歡喜何にたとへん、この感激何を以て應へん――朝鮮神宮に京城運動場にはたまた街頭行進に颯々の步武を踏み出した半島男女若人五萬――男子は健兵めざし女子は健母たらんとの誓ひを固めて大東亞の指導者たる光榮を今こそ擔つたのだ、燦たり昭和十八年八月一日――この日まさに灼熱化した半島同胞の感激は午後の諸行事から夜へと續き午後七時府民館大講堂に開かれた大本營陸軍部秋山邦雄中佐の"現下の時局と徴兵制に就て"と題する大講演會はラジオ、新聞、雜誌で馴染深い秋山參謀の熱血の至情に觸れんものと定刻前から詰めかけた半島若人層によつて會場を埋め盡し涙せむばかりの感激にしたつたのである

全鮮婦人層を動員
徴兵令感謝の獻金運動展く

半島二千五百萬同胞が多年の宿願であつた徴兵制は愈々八月一日から實施せられた、老いも若きも男も女もひたすら鴻大無邊な聖恩に感泣、皇恩に報い奉らんと逬る感激と"米英擊滅たずんば止まじ"の固き決意を新たにしたが、この燃ゆる愛國の誠熱に燃へるとともに一大劃期的な徴兵制實施を永久に記念しようと國史の日八月一日を期し中樞院副議長李家鍾鎬、同參議平林麟四郎兩氏が中心となつて李海昇氏、李圭元氏、井垣圭復氏、高島基氏、金田明氏、金澤鎬氏、金濯圭氏、國田鍾郁氏、原安鍾哲氏、張間憲楫氏、清道金次郎氏、金光龍臣氏、金川麟氏、一園主氏、高光駿氏、徹鶴氏、金川麗氏等の半島名士を發起人とする"徴兵令實施感謝會"を結成全鮮的に一大徴兵記念獻金運動を展開することとなつた、これによると全鮮の半島人中堅婦人層を動員、各地域別に獻金蒐集の任に當らしめ、一人につき金十錢を最低額として廣く一般の醵金を集め、この赤誠を軍部に獻納して"みたみ我れ"の感激を獻金に示すこととなつた、なほ同運動は永續するもので二千五百萬半島同胞の自發的な總蹶起を要望してゐる

半島號獻納へ
在京半島人起つ

【東京電話】半島同胞の多數會員とする大日本皇道會では一日午後一時より兩國公會堂に半島徴兵制實施記念大演説會を開催、皇道會長赤尾敏氏、同會東京支部副支部長李英介氏の演説、歌手永田絃次郎氏の餘興あり、徴兵制實施に對する在内地半島人の感激を表明すると共に戰力增强、聖戰完遂の決意を一段と昂揚し盛會裡に散會し

たゞなほ同會ではこれを機會に内鮮一體、聖戰必勝祈願運動を强力に展開する一方、飛行機半島號獻納運動を起す計畫を目下着々進めてゐる

英靈も照覽あれ！
靖國の杜に半島學徒の誓ひ

【東京電話】昭和十八年八月一日大東亞戰下必勝不敗の態勢に更に一段の威力を加へこゝに半島同胞の待ちに待ちたる榮えある徴兵制は愈々實施の第一步を踏み出した、それは一億國民にとつて長く〳〵肝に銘じて忘れ得ない日である、この日全國一ケ月に亙つて展開される兵制發展記念行事の先頭を切つて帝都では護國の英靈鎭ります靖國の杜に大政翼贊會東京都支部主催の下に滿十七歳から滿十九歳に至る内鮮男子一萬二千名參加して壯丁士氣昂揚大會を開催、若人の盛んなる意氣を祈柄の酷暑ものかは只管盡忠報國、米英擊滅に燃えて靈前に所揚されたのであつた、この日半島青年一千五百名は隊伍堂々として燃え上る半島の意氣を象徴に揃ひ七時十分早くも會場に到着續いて大學、專門、中等諸學生、義勇報國隊、青年學校生徒一萬餘名も續々と參加、かくて〇〇萬の壯丁は[illegible]外苑の[illegible]郎銅像[illegible]國民儀禮[illegible]の大[illegible]奏上げ陸軍軍樂隊の伴奏で『海征かば』を齊唱、終つて帝國在郷軍人會長井上大將の發聲で聖壽萬歳を奉唱、九時大會を終つて全員は總指揮者東京聯隊區司令部島海大佐指揮下に九段下より宮城外苑に向つて堂々たる市中行進を行ひ宮城遙拜、萬歳を奉唱し十一時各隊毎に順次解散して行事を終つた、引續き在京半島學生二百餘名は楠公銅像下に集合手に〳〵日章旗を打ち振りつつ今日の感激と感謝の挨拶を述べるべく朝鮮奬學會職員に引率され櫻田門から行進を起し陸軍省に至り正午本省大玄關前に整列、東條陸軍大臣代理山本少將を迎へて學生代表顯大北村祐輔君が左の如き感謝と誓生の決意を朗朗と述べた

われ等朝鮮同胞が久しく待望せる徴兵制度本日をトして改正せられ光榮ある兵役の義務を負荷せらる、われ等半島學徒の感激歡喜これに過ぐるものなし、今や大東亞戰爭は決戰段階に入り苛烈なる死鬪が續けられ國内又一億一心敵米英擊滅に邁進しつつある秋、我等も又皇軍の一兵として第一線に挺身奉公以て皇國を死守して皇基を永遠に擁護するの新使命に透徹し以てこの聖恩に應へまつらん

これに對し山本少將の祝辭あり、一層諸[illegible]とともに益々學徒の本分を[illegible]擁護する』との激勵あつて同[illegible]

倶に喜ぶ"歴史の日"
新京の徴兵制祝賀式

【新京特電】半島二千五百萬待望の徴兵制は愈々八月一日から實施されたが滿洲國では親邦日本の恩義に應へ一日から七日まで半島人徴兵制施行記念週間として全滿に多彩な記念行事を繰ひろげ趣旨の徹底と半島同胞の士氣昂揚を圖ることゝなつた

この日新京では午前九時から新京神社の大前に徴兵制實施感謝決意宣揚大會を擧行、關東軍代表、政府各機關代表大迫副市長、滿原參議をはじめ在京半島人有力者等參列、内鮮壯丁協和青少年約二千五百人は參御拜、戰鬪帽に身を固めて參集、新京神社神職の司祭のもとに嚴かなる奉告祭を執行、滿原參議、神の大前に一死奉公、皇國臣民の義務を完遂せんと固き決意を誓ひ關東軍參謀長、三宅協和會中央本部長の祝辭あつて閉式、在京の若き皇軍の一翼は隊伍堂々と市中行進ののち、新京忠靈塔に參拜、地下に眠る先人の靈に我等先人の衣鉢をつぎ、一死殉國に挺身せんと固き決意を表明して散會午後は七時より記念公會堂で壓祝の記念講演大會を開催、洪少將の講演、映畫マレー戰記等を上映、滿堂の半島人は今更皇國臣民としての重大責務を痛感し感激と大いなる希望に燃えて盛況裡に終了した

徴兵に沸る愛國半島 (2)

殉國の至誠に燃ゆる二千五百萬同胞の悲願今ぞ叶つて皇軍の一翼として起ち上る榮光は燦として半島津々浦々に輝き渡る、半島若人は海ゆかば水漬く屍、山行かば草むすかばね大君の邊に散り果てん烈々の殉國魂をもつて徴兵進軍へ蹶然蹶起してたゞひとすぢに皇國に報い奉らん感激の日は到來したのだ、この世紀の首途の日、こゝに盡忠報國の決意に燃えて徴兵の先陣ともなつて軍門に馳せ參じた陸軍特別志願兵の中から不滅の光芒を放つ數々の武勳を打ち樹てた故李仁錫上等兵はじめ幾つかの輝い武勇傳を列擧し半島若者の必勝の糧としよう【寫眞＝猛訓練を續ける志願兵生と人物は上段（左から）故李仁錫上等兵、故李亨洙兩上等兵、中段（左から）朴宗華、張松貴兩軍曹、下段白承吉兵長】

斃れてなほ止まじ
武勳燦たり！志願兵

軍人の最高

の榮譽である金鵄勳章拜受の光榮に浴した故李仁錫上等兵（忠淸北道沃川郡出身）は山西省の作戰に勇躍參加、泥水すゝり草の根を食んで各地を轉戰、敵多數の武勳を北支の山野に轟かしたが樂山村東南方の高地の戰鬪で敵は數を恃み、手榴彈戰を敢行して來た、友軍が突擊の喊聲をあげる度に敵は盛々手榴彈を投げて來た、三宅分隊長は傷つき、斃れ、死傷者は續出する、この時側方で李仁錫上等兵は激烈な敵愾心を燃え立たせて敵彈雨飛の中で群がる敵兵に向つて銃口も燒けんばかりに射ちまくつてゐた　分隊長が『危いから伏せろツ』と喚鳴つても相かはらず猛射の度をゆるめなかつた、その時の敵の手榴彈が炸裂し破片は李仁錫上等兵の左大腿部に喰つた、竹鼻隊長が地べたにドツと倒れた李仁錫上等兵をしつかと抱き起して激勵すると『ハイツ、大丈夫であります』とかすかな返事のうちに苦痛の呻き聲も殺して蒼白な顏をしながらぢつと齒を喰ひしばつてこらへてゐた

左の大腿部

からは鮮血が迸り出て軍袴はみる〳〵紅に染まつた、衛生兵が應急手當を施したが李仁錫上等兵の顏は土のやうに青ざめていつた、竹鼻隊長が『何か云ひ遺すことはないか』と聞くと『私は何もありません、たゞ隊長殿の許で長く御奉公が出來なかつたことが殘念です、訓練所の恩師が目に浮かびます……』と苦しい息の中からいつた、最後に『天皇陛下萬歳』を唱へ半島志願兵の面目を輝かして靑壓萬丈の功七旭八の金鵄に輝く李亨洙上等兵（全羅南道靈巖郡出身）は山西省翼城からの戰鬪で敵前渡河して行動を起さんとしたとき、敵彈を彈兒の眞ん中に受けた、彈丸は頭の左側を貫通、〇〇野戰病院に收容され、しばらく小康を保つたが戰傷死した　また病勢悪化して生存者として金鵄勳章を拜受した白承吉上等兵（慶尚南道南海郡出身）は山西省中條山脈の戰鬪に參加、味方の部隊は、中條山脈に陣を構へて頑強に反抗する敵を追擊して〇〇方面に進出、敵は黄河を背にして左側高地に機關銃やチエツコ銃などを据ゑて反擊を續けてゐた

白承吉上等

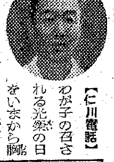
兵の屬する〇〇隊はこれを奪取する任務を帶びて進擊、彈丸雨飛ぶ中を白承吉上等兵らは遮二無二突擊を敢行して機關銃陣地を奪取、主力の進出を有利に展開させた、同じく生存者で金鵄勳章拜受の光榮に浴した張松貴上等兵は北支戰線で驍戰すること五十數回、乾パン盡きて草の根を嚙め〇〇山脈の殲滅戰に參加、泥濘隊を突きる嶮路を衝いて進擊、〇〇高地の攻擊始まるや張上等兵は第一分隊長と共に分隊の先陣をなして同高地から射つてくるチエツコの猛射を受けながら生死を超越、敢然と躍進の勢ひで敵陣に突入、目ざましい殊勳を奏かせた　このほか金容柱軍曹（全南潭陽郡潭陽面栢洞里出身）は山西省の作戰に加はり、〇〇で敵陣に肉薄前進してゐるとき、敵の迫擊砲彈の破片を左大腿部に受けた、これを見た小隊長は『直ちに後退して手當を受けよ』と命令したが責任旺盛な金軍曹は『何んのこれしきの傷位は』と重傷に屈せず後退しなかつた最後まで〇隊とゝもに不自由な足を引きずつて前進を續けた、またそれから一ヶ月後に金軍曹は再び敵砲彈破片を胸部に受けたが、最後まで頑張つて任務を遂行、頑張り兵として勇名を北支の山野に轟かせた

その武功は

半島志願兵として燦如たるものがある、朴宗華軍曹は山西の激戰で敵砲火をくゞつて傳令の任務を遂行中、無念にも片脚に敵彈を受けたが、これ位の傷に挫けては面目ないと烈々の責任感を燃えたゝせて足を引きずりながら隊の目的地に到達傳令の任務を完全に果した　戰鬪が終つて朴軍曹は獨りで足の傷の手當をして戰友には打ち明けなかつた、後でこれを知つた隊長は『その傷で前進するのは困難だ、後退せよ』と命令したが、朴軍曹は『取残されるのは志願兵の恥です、半島の不名譽です』と隊長に前進部隊に加はることを涙を流して願ひ、最後まで後に退かなかつた

感激の怒濤は續く

天晴れ軍國の父
港仁川に床しき獻金の佳話



【仁川電話】わが子の召される光榮の日をいまから胸に描きつゝ"われに皇國臣民としての榮譽あり"との限りなき感激にひたる軍國の父仁川府松林町一五八大陸製材所東原炳文さんは卅一日本社仁川支局を訪れ『私に三人の子供がありますいづれも男の子ばかりでそのうち長男が今年十四歳、やがてこの子らにお召しの光榮の日があるのを思ふと家門の名譽この上もなく胸が一ぱいで躍りたくなります』と語りながら徴兵制實施記念獻金（陸軍へ）として五十圓を寄託した

……◇……

また同日ひとりの老人が訪れ、老の眼に泪をうるませて　お召しの日をまへに、陸軍だ、海軍だ樂しさうに語る、ひとの家庭に引きかへ私には、今年廿七歳の子があるだけで光榮に浴することが出來ず無念でたまりません、はなはだ僅少ですが恩命に浴し得ぬ私の氣持を酌んでこれを陸海軍にお取次を願ひます　と百圓をさしだして獻金を寄託した、老人は仁川府松林町大陸精米所本沼永壽さん(五)であつた【寫眞＝東原炳文さん】

親子揃つて

京城鍾路區積善町一八、戰謹士森山槇介さんは協成國民學校六年に通つてゐる子息元允君(三)を伴つて一日本社を訪れ、槇介さんは百圓を、元允君は兼ねてより集めてゐた古錢貯金箱に貯めた十五枚を添へて徴兵制實施記念事業資金にと本社に寄託した

節煙して捧ぐ

府内中區林町一三九松岡信徳氏はこの大なる感激の日に"何か記念に"と考へ、二日間の節煙で得た一圓五十九錢と家庭に來た殘存してゐる眞鍮の佛具他金物を携へて一日海軍武官府を訪れ獻納した、また香洞町二八四、清橋弘道氏は弟、愚子達の晴れて召される日が來たのを記念して"僅かですが、これは國防獻金に"と百廿五圓五十錢を一日城東署に寄託した

孤兒も抑へ難く

【清津電話】半島若人の感激沸る一日は、淸津府民も記念の獻金にその赤誠を示さんとし、早朝から本社淸津支局には七、八歳のいたいけな淸津慈惠園の孤兒代表卅一名を初め日夜製材に敢鬪する東滿製材職工卅名、慶間第一被服工場の女工さん四十五名、また成周英病院の入院患者佐藤ミツ子さん外十一名及び職員、看護婦等十五名など揃つて獻金の手續きを取つたがその主なるものは左の如し

淸津慈惠園孤兒一同　安田貞姫外七圓七十錢◇東滿製材從業員片山肯松外十九名廿二圓廿錢◇第一被服工場從業員平山高三外廿名十五圓◇成周英醫院入院患者佐藤ミツ子外從業員一同十八圓九十錢

童心燃やして

【仁川電話】世紀の感激の日に燃ゆ火と燃えて愛國の至情を披瀝してお召しはちかい光榮の日を思へば腕は躍る、本籍忠南論山郡魯城面仁川府本町二ノ一森高雄さん方池田明發(二)君が『僕は將來陸軍軍人になりますそのお約束の記念に僅かですがこれを陸軍へあげて下さい』と五圓を一日本社仁川支局に寄託した、また本籍永同郡龍山面、仁川府仲町寫眞館梶谷金鎔さん方大島日永君(一)も徴兵制實施に感謝のおしるしとして二圓をどうぞ海軍さんにあげて下さい、と仁川支局に寄託した、なほ以下は同日本社仁川支局に寄せられた赤誠譜

一金貳圓仁川府仲町梶谷寫眞館方大島日永、一金壹圓五拾錢仁川府仲町梶谷寫眞館一同、一金貳圓五十錢仁川府京町子供愛國班一同代表者瀬繁明、松尾武、一金貳圓仁川府花平町三九仁川松峴校宮本昌得、一金五圓仁川松峴校第五年曹組一同、一金壹圓仁川府花平町二八一松峴校五年生惠雅子、一金壹圓仁川府花平町三〇五松峴校五年生松原貞姬、一金貳圓仁川府松峴町六八松峴校五年高橋敬愛、一金貳圓仁川府松峴町七二松峴校五年中原好子、一金貳圓仁川府花平町三八松峴校五年金光敏子、一金五圓仁川府本町二丁目森高雄方池田明發、一金五拾圓（海軍）仁川府松林町一五八平沼永壽、一金五拾圓（陸軍）仁川府松林町一五八東原炳文、一金壹百圓（陸海軍）仁川松峴學校職員生徒一同代表岩尾卓藏、一金拾圓仁川府西京町二〇一木村正雄、仁川府旭町立神崎科醫方金光一鎔、仁川府本町二丁目松村高明

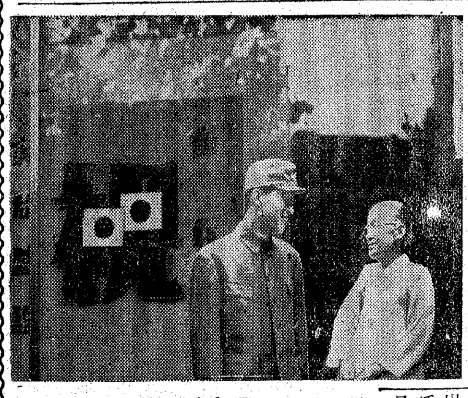
母は子に、子は母に
街頭、感激の徴兵制佳話

半島二千五百萬同胞が晴しく感激と歡喜のうちに迎へた歴史の日、八月一日の午後は興亞の地軸を搖るがした半島壯丁の力強き府内大行進をさまり、老も若きも、男も女も街行く人々の顔、顔は只一つ日本人たる誇りと勝たずば止まじの固き決意が漲つてゐるのであつた、この日の嬉しい我が愛兒の姿を見ようと引きも切らず街に殺到する半島婦人達の行列はいつまでもあとを絶たなかつたが、感謝に激敬された街頭に感激に咽ぶ母子――それは京城中區黄金町一ノ二九三木顯植君(二)母子でありその感激を訊く

けふから立派な日本の母となつたこの喜びを何にたとへませうか、内地の兵隊さんが雄々しく第一線へ出かける度每にいつも羨しく青年はいつあんな立派な軍人になれるかと思つてをりましたがけふの勇ましい半島壯丁の姿を見て感激の涙を流しました、これからは及ばずながら顯植を立派な日本軍人に作り上げ、皇恩の萬分の一でも報いたいと固く決意します、唯々嬉しくて〳〵涙が出るばかりです

と半島婦人の喜びと固き決意を語るのであつた、顯植君も母親に呼應して語る

この感激は死ぬまで忘れません、この喜びを胸底に刻み込んで心身の鍛錬に精勤し強い内地の兵隊さんとゝもにあの憎い米英軍を必ず打ちのめして見せます、私は體格も丈夫です、來年は待ち遠しくて氣が氣でありません、半島人の我々がこの大東亞戰爭に參加して戰ふことが出來ることは感激のほかございません【寫眞＝街頭に感激の母子】



士氣昂揚大會
下關の祝賀行事

【下關電話】いざ共に征かん光榮の日は來た、半島徴兵制の實施それは聖慮の皇軍の一員として加はる兵制の劃期的發展である、この一大飛躍を祝福する八月一日から一週間に亘る國民運動の第一日山口縣下五、福岡縣下十市では早朝五時の國大動員をもつて在住半島人青年を各地神社に召集、奉贊會、協和會、鄕軍分會協同主催の兵制發展記念壯丁士氣昂揚大會を擧行、内鮮相携へて千萬の敵にも皆あげせずかへりみなく醜の御楯と出でたつ決意を誓ひ合つた

話題特急

☆……二千五百萬の感激決意を一堂に凝結させて行はれた一日、京城運動場の徴兵制實施感謝決意宣揚大會は半島の歴史を飾る感激的場面であつた

☆……息づまるその會場の兩端には大きな軍隊式天幕が會衆の眼をひく、これは灼熱の暑さの中に行はれる行事に際して、病人が出來てはと、主催側の總力聯盟が精をもつて作つた救護所だ

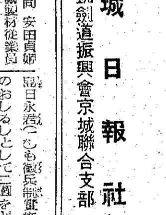
☆……それが大會が終るまでも一人の事故者もなく、おかげで救護所は開店休業の有様

☆……朝の六時から晝の十時まで四時間も、火と燃ゆる炎暑をつつむ會場の中央に直立不動の姿勢でぶつ通した隊伍々の徒にも、一人の病人も起きず、徴兵に蹶然起つ半島若人の意氣そのまゝで頼母しかつた

徴兵制實施記念
健民健兵の夕
愈々けふ夜七時（入場無料但し小人は御斷り）
會場…京城府民館大講堂
講演　京城師團　福永中佐
大日本銃劍道型　今泉教士…野口教士　川畠教士…田中教士（解説時任教士）
軍刀の操法・映畫
主催　京城日報社
後援　大日本銃劍道振興會京城聯合支部

甲子會の名藥
體位向上に　まむしを
健胃強壯に　奮鬪丸
藥の天瓜粉　ベビーサン
健眼に美眼に　マスミ
熱にも咳にも　改源
總代理店　中西武商店

ぜん息・神經痛
高血壓 中風
不治でない
今津博士の素晴しい研究


（左）研究中の今津博士）

血壓は酒煙草、ご馳走、遺傳、腦病、腎臟病、糖尿病、脚氣、心臟病、動脈硬化、胃腸病、婦人病等で身體を流れる血液が惡くなつて循環が不良になり神經が侵されて起るので、ドロ〳〵に濁つた血液を淨化して、病氣の原因を除いて血壓を下げ、神經痛も良くして根源の病原を除けば治る、決して不治でないことは多數の實驗により確め醫學界で有名な今津博士は血清ホルモンから發明な淨血劑を創製し、その服用とリキシン又はイマヅミンの作用から良くし、大に喜ばれてゐる。
●中風　で不隨、舌もつれに惱む人
●高血壓　動脈硬化で肩こり耳鳴り、頭痛目まひ、動悸ふら〳〵、便秘、不眠神經衰弱、足重ハレ、ふるひシビレなど腦溢血の危險ある人
●神經痛　ヤリウマチで手足腰背中や關節が痛んで困れる人は
一日も早く大阪市阪急線三國驛前
今津研究所（へ遠慮なく行くか、遠方はつらい症狀を詳しく記し、御申し込まれよ！
博士獨特の淨血療法、養生法その他注意事項を詳細懇切に教らるゝ研究所を訪れた患者は博士の眞劍な[illegible]送られた多數の感狀を見、[illegible]を以て本療法を推獎する次第である

第六期貸借對照表（昭和十八年六月卅日現在）

資産之部	圓
現金	[illegible]
預ケ金	[illegible]
有價證券	[illegible]
受取手形	[illegible]
[illegible]	[illegible]
假拂金	[illegible]
土地	[illegible]
建物	[illegible]
未拂込資本金	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部	圓
支拂手形	[illegible]
未拂金	[illegible]
假受金	[illegible]
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

昭和十八年八月
京城府西大門區竹添町二丁目七二番地
朝鮮回收資源統制株式會社

黄金町入口 日本生命東
皮膚泌尿 性病科
醫學博士 渡邊晋
電本894

謹告
大東亞戰爭下海運機構整備の國策に即應し木造機船運航の目的を以て茲に報國近海機船株式會社を創立致候
弊社は瀬戸内海並に朝鮮南部方面物資輸送の完璧を期し決戰下必勝態勢の確立を目指して新發足致候ものに有之その責務の極めて重大なるに鑑み專心海運報國に邁進致す覺悟に御座候　何卒大方各位の絶大なる御支援を相仰ぎたく紙上を以て偏に奉懇願候
昭和十八年七月二十一日
大阪市北區宗是町壹番地
報國近海機船株式會社

コーア洗濯の素
專賣特許
多量入荷
八月分の注文受付並に初荷は十日迄とす
一箱百二十五袋詰（小賣三〇錢）七〇五
京城府竹添町二丁目一二五番地
有限會社光和商事本店
振替京城二一三九六五〇七三

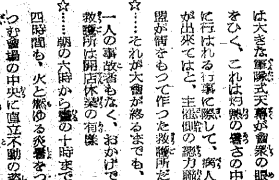
食用茸の家庭栽培
おいしい食用茸が、都會でも田舍でも、家庭で立派に作れる人工栽培法が研究されました。自家食料としても、又副業としても有利です。この食用茸の作り方の秘傳を、くはしく解説した本「食用茸の人工栽培法」（又は小冊子）を送料共三十錢（切手はよろしい）で御送り致します。御注文はお早目に。
振替大阪八七三七六番
京城府竹添町[illegible]食用茸栽培所

金剛特種鑛山株式會社
第拾壹期決算公告（昭和十八年五月三十一日現在）
貸借對照表

科目	金額
未拂込資本金	[illegible]
鑛業權	[illegible]
設備	[illegible]
探鑛	[illegible]
建物	[illegible]
機械	[illegible]
[illegible]	[illegible]
資本金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

右之通リ候也
昭和十八年七月
京城府竹添町二丁目九番地
金剛特種鑛山株式會社

洗濯石鹸
シャボンのお困りの方へ
曙光
市販代用品とは斷然違ふ……
泡立ち　洗滌力　香氣共
タカラ印
優良粉洗料入荷
卸元　中外商工社
電話五五一〇番
代理店御希望にも應ず

車燃代策國
各種乘用馬車
（リヤカー用　自轉車用　店頭用）
（型録進呈　要四錢切手）

京城府林町八八
合成工作所
電本② 六八二八番・七八二八番

なめない梅干
上略……がいに働いて息が切ぺいならば、打飼の底に入れて置た梅干をとんだしてちよと見ろ。必なめもしないもんだぞ。くらふ事は扱置、なめても喉がかはく物だ程に、命のあるべいうちは、その梅干一つ大切にして息合の藥にとんだして見て、つゝばめ〳〵くわないものだ。梅干を見ても又喉がかわくべいならば、死人の血でも又はどろのすんだ上水でもすゝつて居なされ…下略
「雜兵物語」より拔萃
昔から陣中の喉の乾きには酷く苦しめられたものです
今は戰地の疲れに咽喉の乾きに胃腸保護に仁丹が一番重寶！

仁丹

時節柄、節約して、大切にお使ひ下さい、お願ひします。
パピリオ

月やく
とどこうりお困りの方や御心配の人
[illegible]
中尾本家

徴兵と戸籍を語る　本社主催座談會

月曜特輯

晴れのお召しだ、戸籍はよいか—一日から半島にも徴兵制が布かれた、この光榮は兵役法中の改正法律が一日から發動されることによつて二千五百萬の頭上に燦と輝くものであつて、その規定中には『朝鮮民事令中戸籍に關する規定の適用を受くる者』とあり、兵役法、卽ち徴兵は戸籍に基本をおいて兵役に服する者を定めることになつてゐる。本社では八月一日、巨いなる進發をとげる日に當り七月卅日夜、總督府早田法務局長、渡邊民事課長、前民事課長岩島肇(現辯護士)三氏を煩はして京城旭町喜久井茶寮に〝徴兵と戸籍を語る座談會〟を開き、戸籍が徴兵制に齎す重要性を說いて貰つた(本社側出席者秋尾編輯局長、越社會部長、太田副參事)—カット寫眞は志願兵の市中行進

半島に輝くこの榮譽

故實に見る徴兵制度と戸籍

秋尾編輯局長　半島にも愈々八月一日から徴兵制が實施されます、海軍志願兵制と共にこの八月一日こそは半島にとつて永久不滅の輝かしい日であります、そこでこの徴兵制には戸籍が表裏一體になるといひます、戸籍が徴兵制に必要なわけとその關係はどんなものでせうか

早田法務局長

早田局長　徴兵制度は兵役に服することを國民の義務とする制度であつてこの兵役に服するといふことは國民の最も崇高なる名譽であるから國民に對して最も嚴正にして且つ公平に行はれなければならない、或る家庭のみから又は或る地方のみから多く徴集するやうなことがあつてはならない、徴兵適齡者卽ち壯丁を正確に調査して各地方に對し徴集すべき壯丁數を公平に割り當てなければならないことになる、この壯丁の調査と徴集人員の配賦とは何を基礎として行はれるかと言へば實に戸籍を唯一の基本として行はれるものである、これを沿革に遡れば實に古く我が國においては大寶の律令にその例を見ることが出來るのみならず、朝鮮に於ても高麗時代に徴兵は戸籍を基本として行はれた徴兵制度と戸籍との關係には幾多の變遷があつたが遂に明治の御代に至り明治五年十二月徴兵制度の確立と共に其の基礎を全面的に戸籍に依存することとなり現在に至つてゐる、從つて徴兵制度と戸籍制度とは極めて密接な關係を以て發達して來たものと見ることが出來る、一日から實施される兵役法と戸籍との關係について一、二の事例を擧げると

一、兵役法に於ては先づ『戸籍法及朝鮮民事令中戸籍に關する規定の適用を受くる者』にして前年十二月一日より其の年十一月卅日迄の間に於て年齡廿年に達する者は別段の規定ある者を除くの外徴兵檢査を受くることを要し、其の年齡は戸籍に依ることになつてゐる

二、戸主は其の家族中(戸籍上の)毎年十二月一日より同月卅一日迄の間に於て、年齡廿年となる者あるときは其の年の十一月中に、一月一日より十一月卅日迄の間に年齡廿年となる者あるときは其の前年の十月中に本籍地の府尹又は邑面長に届出でなければならない、戸主が七年となつたときも同じである

三、府尹又は邑面長は毎年十二月一日現在を以て戸籍に基いて詳細な事項を調査して壯丁人員表を作らなければならない、其の他府尹又は邑面長は戸籍と徴兵適齡届とを對照調査して壯丁名簿及其の附表、壯丁連名簿、徴兵檢査不要者名簿其の他種々の書類を作らなければならない

以上は一、二の例示に過ぎないが前に述べた例をもつても徴兵制度の基本が戸籍に置かれてあることが容易に領會されるのであらう

徴兵制度の基本を戸籍に置くことについては條件がある、それは正確なる戸籍でなければならないといふことである、國民全體が戸籍上一人の遺漏者もなく、年齡も正確に、男女別の相違もなく、人の生死狀態も正確に、生れた者、死亡した者がその都度戸籍に記載されてゐて、戸主相續や分家に依る新しい戸籍も敏速に作られてゐる戸籍であつて始めて壯丁徴集の嚴正と公平とが期待し得られるのである、徴兵制度が依存する戸籍は斯の如き正確なる戸籍を意味するのであつて實に之を前提條件としてゐるのである、兵役に服することが國民として最も崇高なる名譽であるとすれば、何人といへども嚴正にして公平に行はれることを望まない者は一人もないのであらう、諸種の負擔卽ち當局又は配給等が隣家と比較して重い輕いのと騒ぐのとは根本的に趣を異にし最も嚴肅に考へなければならない問題である

然るに朝鮮に於ける戸籍の現狀如何と言へば遺漏者が多く、年齡の錯誤が多く、男女の相違が多く、出生届、死亡届の懈怠が多く、相續や分家による戸籍の編製は遅延して不正確なること夥しい、かくの如き戸籍は形あつて其の實なきに等しい、勿論之を徴兵制度の基本となすことなど思ひもよらぬところといはなければならない、法務局に於ては以前からこの戸籍の不備に付て之を整備すべく努力して府邑面を督勵して來たのであるが朝鮮の一般民衆は戸籍に對する認識乏しく笛吹けども踊らずで尋常一樣の手段では容易に戸籍整備の實を擧げることが出來なかつた

然し徴兵制度の施行を眼前に控へた今日に於ては何としても戸籍を整備しなければ徴兵の嚴正と公平を期することが出來得ない情勢に直面したのである、こゝにおいて昨年十月寄留制度を施行して各人の住所を明かにし、本年三月一日戸籍寄留の一齊調査を爲し之に基いて戸籍の整備を敢行するとにしたのである、昭和十九年度の壯丁に對する調査は本年中に之を完了しなければならないから之が戸籍整備は遅くとも今年の八月頃迄には完了しなければならない洵に一刻の猶豫もならない火急の對策である、若し今回の戸籍整備にして尙且つ完全に行はれ得ないとすれば朝鮮同胞に對する崇高なる名譽の分配は極めて不公平になるのみならず嚴縮と銃後國內に於ける人口の調和は破れ地方的に銃後人口の均衡を失ひ生產に、消費に、配給に幾多の支障を來すべきは寔に明瞭である、故に今回の戸籍整備の成否は其の影響するところ只單に徴兵適齡者のみに止まらず半島同胞全體が甚大なる影響を受けることを覺悟しなければならない、從つて今迄のやうに戸籍に對し無關心であることは許されない最も切實にして嚴肅なる問題であることを銘記すべきである

朝鮮戸籍の沿革史

本社側　朝鮮戸籍の今日までの沿革とその現狀をお話し下さい

渡邊民事課長

渡邊課長　朝鮮に於ける戸籍制度は昔支那の唐制に倣つたものであつて、高麗の兵志戸口條に『國制は民の年十六なるを丁となし始めて國役に服せしむ、六十を老と爲して役を免ず、州郡は毎歳日を計し戸口を籍す、凡て徴兵と徴役は戸籍を以て抄定す』とあるから當時既に戸籍制度のあつたこと及び朝鮮でも當時戸籍を以て徴兵制度の基礎としたことが窺はれるのである、當時の戸籍は州郡に於て毎年作製したものである其の後李朝に至つても式年毎の制度卽ち戸籍制度は踏襲され三年目毎に作つてゐたものである

隆熙元年には戸口調査規則が施行され『號牌』と謂ふ身分氏名を書いた鑑札の樣な制度があつた、この頃までの戸籍は國民の戸口調査の台帳であつて租、庸、徴の基本臺帳であつたのである

然るに隆熙三年卽ち明治四十二年四月一日に民籍法なるものが施行され、戸籍制度として稍現行の戸籍に近いものが出來たのであるが、その條文も僅々八ケ條で寔に不完全なものであつたその後大正十二年七月一日より現行朝鮮戸籍令が施行され今日に至つたのであるが施行當時現行戸籍令は民度に比して高級過ぎた爲民衆に理解されなかつた憾みがあつたのである、その爲戸籍の届出は勵行せられず今日の如き不備な戸籍と相成つたものと見ることが出來る、尤も朝鮮の戸籍の不備は民籍法に依る不完全なる民籍を承繼してゐることにも大なる原因があるのである

內地との相違

本社側　內地人の戸籍法と半島人の戸籍令とはそれ〴〵違ひますね

岩島氏

岩島氏　戸籍法は內地人の戸籍に關することを定めた法律であり、朝鮮戸籍令は半島同胞の戸籍に關する規定である、戸籍は人の親族關係や、相續關係に基く身分事項を登錄するものであるが內地人と半島同胞とは、この親族關係や相續關係の基本が異つてゐるため、これを登錄する手續規定も異ならざるを得ない、例へば內地人は女でも分家することが出來るが、半島の同胞は女が分家することは出來ない慣習である

又內地人は男卅歳、女廿五歳に達して居ると父母の同意がなくても婚姻することが出來る場合もあるが、半島同胞は四十歳になつても、五十歳になつても父母の同意がなければ、婚姻することが出來ないのである、朝鮮には死後養子といふ慣習があるけれども、內地人にはこの死後養子といふことはない、その外かうした根本的な相違が因である

この根本的な身分關係を同一にしない限り、戸籍の手續だけ同一にすることが出來ないので、內地人と半島の同胞では戸籍規定を異にしてゐる

時局と戸籍整備

本社側　戸籍整備のお話を

渡邊課長　戸籍は各家毎に人の身分關係を登錄するものであるから、戸籍に記載されてゐる人の身分事項は事實に符合してゐなければならないのである、然るに朝鮮の戸籍は、無籍者、本籍不明者、實際の生年月日と戸籍上の生年月日が喰違つてゐる者、二重戸籍、複本籍が多いこと、戸籍上男女別の記載錯誤が多いこと、戸主相續届を怠つてゐる者が多いため家族關係が實際と戸籍と符合しない等著しく錯誤遺漏があつて戸籍は形あつてその實なきに等しいといはれるやうな非難さへあることは局長から前にいはれたやうな次第である、これを事實に符合せしむるには無籍者を就籍させ、戸籍届を怠つてゐる者には卽時届出を爲さしめ戸籍の錯誤ある者には戸籍の訂正をなさしめなければならない

然しこれは大事業である、一概に無籍者と謂つても誰と誰が無籍であるかと言ふことを調査するだけでも全鮮のみでなく廣く滿洲、支那、內地、蒙疆、樺太等朝鮮人の居住する地域の全般に亘つて或る一定の日時を期し一齊調査の網をかけなければならない、その他戸籍の記載が錯誤なりや否やを全部の半島人について調査するのは容易に出來ることではないのである、そこで朝鮮內に於ては徴兵制施行の萬全を期する爲其の必要の限度に於て三月一日現在に於ける滿廿歳以下の男子全部に付本籍の有無、年齡、戸主關係等を中心とした一齊調査を本年の三月一日に施行し此の調査の結果に基き戸籍の整備を圖ることゝしたのである

內地に於ては司法省が主務となり內務省、厚生省、協和會が之に協力して一齊調査を爲し、滿洲に於ては在滿朝鮮人施行準備委員會が主體となつて朝鮮總督府法務局の施策に基き兵事員會囑託に於て一齊調査の衝に當り、關東州に於ては關東州廳民生部が主務となつて右施策に基き、又は會長が一齊調査實施の衝に當り、また北支蒙疆に於ては日本大使館司政部が主務となり民團に於て一齊調査實施の衝に當り、以て朝鮮內外各地域に亘り水も漏らさぬ樣な調査網を張つたのである

然し戸籍は人の身分關係を公證するものであつて、戸籍に登記された者の現實の動きを公證するいはゞ動的役割を果すに止まり戸籍を整備して壯丁を把握する方途を講ずる必要があるむる性格を備へてゐるのでは遺漏なきを期し得ないのである故に、昨年朝鮮に於て實施された青年の體力檢査に於ても檢査を受くべき者に對する通知書の送達が出來ない事が甚だ多數に上つたといふ經驗を嘗めてゐるところである、斯樣な狀態に鑑み既に昨年十月朝鮮寄留令を施行し住所や居所を明確にするため致し、現在に於ては各人の居住所は戸籍の差に之を明記しておく必要が痛感され戸籍を有する者の住所居所は公簿上極めて明瞭になつてゐる、なほ戸籍留の一齊調査を施行致す際には寄留の一齊調査をも併せて實施する豫定になつてゐる

貰ひ損ねた十萬圓

無籍なるが故の悲喜劇

本社側　朝鮮の戸籍が今まで徹底してゐなかつたため、いろ〳〵な悲喜劇を醸し出してゐるといふ話が多いですね

早田局長　田舍の山の中あたりは戸籍が要らんといふわけでこれに全然無關心であることが多かつた、大邱の或る山の中に癩病患者がゐた、それが何處かへ出て行つて死んだまゝ歸らない、そこでその妻が死んだ夫には十萬圓といふ遺産があることを發見した、さあ大變だ、といふわけでその妻が相續しようとしても夫婦關係の婚姻届戸籍がないからどうにもならない、その中に戸籍を知つてゐる親戚の者がこそつと屆出をして、まれいにその十萬圓の遺産を相續してしまつた、あとから本當の妻が裁判を起したが戸籍から洩れてゐたゝめに何もならなかつたといふ嘘みたいな實話もある

岩島氏　朝鮮では結婚して男の子が出來ないと妻を戸籍に入れてやらないといふ惡い慣習がよくあつた、內地でも昔はさういふことがちよい〳〵あつたが、いまではもうない、要する一般民衆の文化と生活が向上すれば、その生活と戸籍が一體化して行かねばならない、數年前まで朝鮮では戸籍遅れにより檢事局から過料をうけた者が年に千五百件もあつた、しかし最近では就籍者が年に三萬といふ喜ばしい傾向をきたしてゐる、これ卽ち朝鮮の民度が昂まり戸籍の必要性を認識してきた一つの證左である

これから徴兵が實施せられ、義務教育が布かれると自ら戸籍問題は解決せられるのではないかと思ふ、しかして要はその場その場で迅速に正確に戸籍を屆出ることだ

渡邊課長　開城少年刑務所の服役者を調べてみると、その八割が無籍者といふことが判つた、これをみると戸籍を知らない者に從つて數奇な運命に迷ひ込まれな人生をたどるやうになるのではないだらうか、この前の年に壯丁の體力檢査があつたが、男を呼び出すと女が出てきたりしたまたかういふこともある、女の子が死んで、次に男が生れた、死んだ子の死亡届をしなかつたために、あとから生れた男の兒が戸籍上に女の兒となつてゐたといふ、之も正確な戸籍生活觀念がなかつたせゐである、戸籍は絕えずとつてみる必要がある

早田局長　戸籍がない者は國籍がない者と同じだ、それだけに半島人で戸籍から洩れてゐる者は堂々たる日本人でありながらもこれは自ら皇國臣民の榮譽を放棄した者である、戸籍は徴兵、納稅、教育の三大義務と共にこれも國民として一つの義務と心得なければならぬ

徴兵へ戸籍の功績

本社側　內地の徴兵制に戸籍はどんな功績をもたらしたでせうか

早田局長　內地に於ては明治五年の十二月に徴兵制度が施行せられ其の後明治廿三年の一月に徴兵令が施行され昭和二年に現行の兵役法が施行されたのであるが、徴兵制度施行當時太政官達によると『徴兵令其ノ他諸規則ハ屢々改良シ漸次稀密ニ至ルト雖モ調査上第一ノ準據トスベキ戸籍ノ稀密ナラザルガ爲ニ之ガ運行ヲ爲スコト得ズ』といつてゐる、之れによつて見ると當時內地でもあまり戸籍が整備されてゐなかつたことがわかるが現在は正確にして立派な戸籍が出來上つてゐるのである、が、これは全く徴兵制度實施の必要が戸籍の整備に拍車をかけて今日の如き正確な戸籍が出來たものと見ることが出來るのである、しかしてその結果は內地に於ては今日の樣な完璧な兵役法の施行を見ることが出來る樣に相成つたものといへよう

元來前にも申したやうに徴兵制度と戸籍制度とは不卽不離の關係を有するものであるから內地に於て徴兵制度が徹底してゐることは卽ち內地の戸籍が整備されてゐる結果であつて之に對する國民の自覺及び戸籍係職員の努力の功績は大なるものがある

總督府の親心

本社側　戸籍整備及び寄留屆を徹底させるにはどうしたらよいか

渡邊課長　戸籍整備の方法については法務局に於て要綱や手續の細則を定めて全鮮の各府邑面に配布してある、これについては各府邑面に調査員を設けて、調査員が調査とその後の整備についての世話をして下さることになつてゐるのだが、調査員だけでは行き屆きかねるところがあるので各愛國班の班長さんがこれに協力して下さることになつて居るから、班長さん又は調査員の人に相談していたゞきたいと思ふ、なほ又一般の人はこの際自分の戸籍について自ら能く調査をして間違つてゐるところがあれば訂正の手續をするやうにし、又届出を怠つてゐる者は速に届出をなし無籍の人は就籍の手續をしなければならぬ、その手續などについては府廳(京城では區役所)や邑面事務所の中にある『戸籍相談所』に行つて相談すると、無料で親切に教へて貰へることになつて居る

寄留居とは

本社側　寄留とはどんなものでせう、その範圍と手續方法を一つ—

岩島氏　本籍外に於て一定の場所に九十日以上居住する目的を以て住所又は居所を定めた者を寄留者といふ、本籍の事實を寄留といふのである、しかし本籍のない者、本籍分明ならざる者、又は日本の國籍を有せざる者(外國人)でも朝鮮內の一定の場所に九十日以上居住する目的で住所又は居所を定めたときは亦これを寄留者として取扱ふのである、人は本籍以外に住所や居所を有する場合とある、本籍と住所、又は居所が一致してゐるから戸籍簿で其の人の住居が判るが、本籍外に於て住所又は居所を有する者、又は本籍のない者、本籍分明ならざる者、其の他日本の國籍を有せざる者に付ては、戸籍簿では其の人の住居が判らぬから、戸籍と別な手續で其の人の住居を判明ならしむることが必要となるのである、この戸籍とは別な手續で然も戸籍と連繫を持たせて人の住所居所を判明ならしむる手續を寄留制度といふのであるが、戸籍のある場所卽ち本籍に居らない者の大部分(九十日未滿の居住を除き)が寄留者であるから戸籍整備と兩々相俟つて初めて人口動態が明瞭となるわけである、これを各人の方面からみるならば住所や居所を明瞭に公證することによつて住所や居所の不明による種々の不利益を豫防することが出來るのである、寄留は之を二種に區別さる

(1)住所寄留—寄留の場所が住所である場合、この場合は九十日以上居住する目的を以て一定の場所に住所を定めた事實さへあれば直ちに寄留となるのである(2)居所寄留—寄留の場所が居所である場合、この場合は九十日以上居住する目的で一定の場所に居所を定めたことが要件となるのであつて、九十日居住して初めて居所を定めることではない、九十日未滿居住する目的で一定の場所に居所を定めても寄留とはならないのである

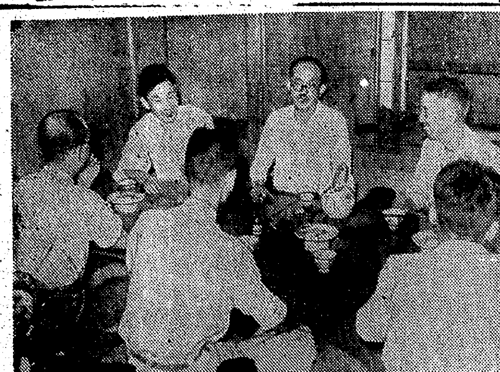
それは短期間の旅行者又は滯在者等は更に轉々とするか、又は移所もなく居所又は住所に復歸する者であるからこれを旅行の先々で斯る短期間の滯在者迄登錄したり抹消したりする必要を認めないからである

次に寄留は如何なる方法で行はれるか、卽ち寄留の行はれる形式態樣について申しのべる、その態樣の區別によつて届出をなすべき者卽ち届出義務者が異るのである、これは三種に區別されるのである。

(1)單身寄留—單身寄留とは寄留者が單獨で或る場合である例へば他家の一室を一人で間借りして自炊してゐる場合の如きがそれである、若しそれが住所の場合は住所の單獨寄留となり居所であれば居所の單獨寄留となる、この場合の届出人は寄留者本人若し本人が届出すること出來ない時は同居者であるが

(2)同居寄留—寄宿所、宿屋の其他多數同居を目的とする場屋の寄留を同居寄留といふ、多數同一家屋內に同居してゐるけれども同居者相互に生計關係の各別な狀態である、この場合の届出人は場屋の管理人例へば寄宿舍の舍監とか下宿屋の主人等である(3)世帶寄留—世帶とは世帶主によつて統轄せられる現實の生活團體であつて、この團體員として寄留する場合それを世帶寄留といふのである、世帶寄留の場合、届出人は世帶主若し世帶主が届出が出來ない場合は世帶を管理する者である

秋尾編輯局長　戸籍が徴兵に如何に大事であるかはこれでよく分りました、愈々半島に待望の徴兵制を施行するに當り、一人の戸籍不整備者もなからんことを念願してやみません



【寫眞＝徴兵制と戸籍を語る座談會】

ラジオ　2日

朝▲六・三〇愛國詩▲九・〇〇子供と飛行機(航研所員山本隆康)▲一一・〇〇愛國の遺業と教育の本義(文學博士河野省三)

晝　〇・三〇吹奏樂▲一・〇〇ピアノ獨奏(レコード)▲四・三〇(城)兵役讀本(鮮語)廊田紀正

夜▲六・三〇(城)最近の航空機の傾向(東大航空研究所員木村秀政)▲七・三〇(城)堆肥の增産に就いて(農林局長鹽田正洪)▲七・五〇ベルリンより▲八・〇〇(城)徴兵制實施特輯番組(鮮語)この感謝、この感激、我等の感激と決意、今日よりは、徴兵制實施讀感、朝鮮第一回徴兵、祝徴兵制實施、最初の血、譽れの星々、歌と管絃樂▲九・〇〇(城)徴兵制實施特輯番組(鮮語)第二夜(城)讀ふ半島の歡び子爵李王元(城)敬諭風景(鮮語)〝感激の日〟(城)朗讀(鮮語)〝弟へ〟

椰子【23】

海野十三作　村上松次郎畫

出港(一)

加太郎は新しい給仕の服を着て、飛行艇の底部を上つて、三階へ出た。

そこに給仕室がある。せまくるしいところに、食器や紅茶の湯わかし一通りの喫茶關係の道具や材料が揃つてゐる。彼はその中に入つていつた。

誰も室內にはゐなかつた。皆、出港間際のことゝて、他の部屋へ手傳ひにいつてゐるのであらう。

丸い腰掛の一つが、楕圓形の窓の近くに取付けてあつた。加太郎はそれに腰を下ろして、窓から外を覗いてみた。

ものめづらしい光景が窓の外に展開してゐる。飛行艇の上に垂れ下つてゐた三角型の屋根は、今は天井にすつかり上つてしまつた。どうやら飛行艇はもういつでも海の上を走り出せる姿勢になつてゐる。

いや、さうではない。對岸の天井のある埠頭のやうなところで、人夫が七八名かたまつて、綱をたぐつてゐる。見ると本艇の艫の下に支柱に結へてある綱がほどけてしまつたまゝ海の中におちていく。それを人夫たちはたぐつてゐるのであつた。それはもやひ綱だつた。最後のもやひ綱だつた。萬事機械化動力化された中に、このもやひ綱がそれから取離された形で、今や人力でえいえいと曳いてゐるのである。これも綜纜のうへのことで、人力による方がいいとされてゐるのであらう。機械力は人間力に勝つ。しかし勝ち切れるところまではいかないやうである。力と注意力とが非常に緻密な綜合をしてゐるところに、人力の尊い傾向があるらしい。

もやひ綱は、たうとう埠頭の方へ引取られてしまつた。これでいよいよ飛行艇は自由な體になつたわけである。

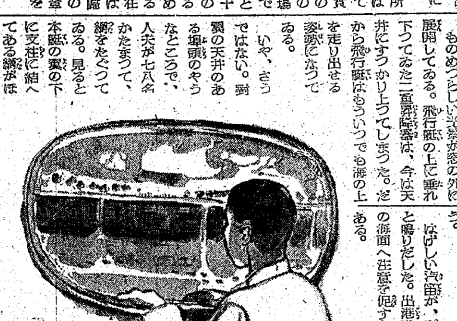
埠頭に立つて、こつちを見送つてゐた人々が急に帽子をぬいで、頭の上に輪を描きながらこつちへ振り始めた。りつぱな服裝をした見送客たちだ。みんな日本人ばかりだ。白人は一人もゐない。

人夫たちも、こつちへ向つて帽子をふり始めた。本艇の乘務員に別れの挨拶をしてゐるのであらう。

ひゆるつといふやうな呼びあげるやうな音がして、プロペラが廻りだした。すると艇は早しづかに前へ動きだした。埠頭が、たくさんの見送客たちをのせたまゝしづかに後へ滑り始めたので、こつちが動き出したことがよく分る。

どこからか、強い音の吹奏樂が聞えてくる。勇ましい軍歌調の曲だ。今流行の『翔ける翼』であらう。

けたゝましい汽笛が、ぴようぴようと鳴りだした。出港を告げ、前方の海面へ注意を促すための汽笛である。



暗い天井の下をくぐりぬけて、飛行艇は青天井の下へ出た。梅雨空はすつかり拭つたやうに消え、初夏らしい澄み渡つた高い空が仰がれる。今やわが飛行艇は、あの無限に高く且廣い蒼空の中へ吸ひあげられていくのだ。

エンジンの唸りは一段と強くなつた。飛行艇の腹の下からがうと白浪が起つて八の字型にうしろへ長く伸びていく。と思ふ間もなく艇は輕く離水した。

新刊紹介

▲花道日本(山根翠堂著)花道の表徴するものは單なる躍動美ではない。眞の花道は活きたものである。著者はこれを希念して本書を綴つてゐる。卽ち前編で花道の成立過程を述べつゝ日本的感性としつくりとりくみ、後編では花道のもつ表現美と精神を說き戰爭下における秀れた美的教養としてとりあげてゐる(B6判、一圓卅錢、東京・神田・神保町三ノ二九教育研究社)

小西六寫眞工業株式會社
さくらフヰルム
さくら印畫紙

京日案內
案內料金(前金)
種別	一件一回(稅込)
一號型(三行)	金參円參拾錢
二號型(五行)	金五円五拾錢
三號型(十行)	金拾壹円
求職一號型	金壹円六拾五錢
姓名在社の御照會は午前九時より午後五時まで廣告部へ御問合せの事

一號型(三行)
會社 讓受 資本金不問 半島ホテル八一〇室 小坂
資金 十萬圓を要する有利事業あり出資希望の方は電話⑤二九〇七番へ 松山
女中 二名至急入用 希望の方は本町西、常盤 會社
幻燈 映寫機及幻燈機材 大田府本町一ノ四五 江本秀男
留守居 月二十日迄 二十八九番 大澤
醫師 招聘 午前勤務も可 電話東局⑥二九一八番
醫院 讓渡 都合により讓る 京城 安田方 金

二號型(五行)
女中入用 十八歲より二十五歲迄 面談は午前中 又は夜間 黃金町六丁目 滿洲莊ホテル
輸血 給血者 募集 行ひ各科 京城
女子事務員募集 高女卒 一名 京城府 會計 事務
鑛山職員採用 現場係 人事係 數名 京城府 二名

三號型(十行)
女子事務員採用 小林鑛業 京城府 電本四五七番
タイピスト採用 朝鮮紡織株式會社 電話本局二四〇二番
女子事務員採用 東寶映畫京城出張所
女子見習工募集 植村製藥株式會社
男女事務員採用 大日本紡績京城工場
書記兼檢查員募集 朝鮮珪藻土
タイピスト採用 帝國水產統制株式會社京城支社

雜役夫及給仕(女子)募集 希望者は自筆履歷書を送付ありたし 面會日は追て通知す 京城府大門通二ノ一〇(千代田ビル) 朝鮮米穀倉庫株式會社
給仕採用 國民學校卒十七歲以下の男子 自筆履歷書持參午前中來談の事 京城府龍山區元町二丁目 朝鮮製綿株式會社
花柳病 泌尿器 專門 白川醫院
古本 高價買入 新刊雜誌販賣 金剛堂書店 京城明治町 電本三三二七

フルターミシン 在庫豐富 地方特約店募集 大新ミシン商工社 電本四五五二番 京城府南大門通五丁目(京城驛前)
運送 荷造請負 共和組
科 齒科 金子醫院 金子鍾元
內科 小兒科 三星醫院 通義町一一五 松岡良武 電光二九二五番
特許商標 松宮特許事務所 辨理士 松宮臣重
タイプ印書引受 白楊 電光(3)一九一九番
校長 沖貞男 中野高等無線電信學校 東京都中野區江古田 電話中野七〇五三・五九七三
小兒科 內科 產科 南條醫院 女医 南條德三 京城嘉會町一〇七 電話光二一二九番
洗濯石鹼代用品販賣 見本申込 京城府 長村商事
校外生募集 新制電氣講義 十月新學期開始 一年半卒業・規則要四錢 東京神田錦町三 電機學校出版部

株式會社 安田銀行

第四十期決算公告

貸借對照表(昭和十八年六月三十日現在)

負債(貸方)
科目	金額(円)
預金勘定	四、五八二、八八二、七一二・三七
外國爲替勘定	一、四〇九、二四六・九二
他店借	四二、〇九三、五八七・一九
未拂送金爲替	七、八三〇、七六九・一四
支拂承諾	五、八〇二、九三三・七八
雜勘定	三八、四七六、八四〇・〇四
株主勘定	二八一、〇〇七、七九六・〇〇
資本金	一六〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定準備金	六〇、三四〇、〇〇〇・〇〇
別途積立金	三二、七八〇、〇〇〇・〇〇
行員退職手當基金	一一、二〇二、一九八・九二
當期利益金	一六、六八五、五九七・〇八
(內前期繰越金)	七、二四一、二〇五・四三
合計	四、九五九、五〇三、八八五・四四

資產(借方)
科目	金額(円)
現金預ケ金勘定	四五八、七二八、五四〇・九五
コールローン	八、九一〇、〇〇〇・〇〇
有價證券勘定	一、八九六、二一六、三九四・九七
割引手形勘定	一二八、八三三、九七二・二六
貸付金勘定	二、二七三、一三一、五六五・九七
金錢信託	一、〇二〇、〇〇〇・〇〇
貸付有價證券	七七、九八九、五二六・五〇
外國爲替勘定	一七、五九五、二〇七・二九
他店貸	一六、七〇〇、二八八・八六
支拂承諾見返	五、八〇二、九三三・七八
雜勘定	二、四九三、〇六〇・〇一
動產不動產勘定	一七、〇七七、三九四・八五
拂込未濟資本金	六一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
合計	四、九五九、五〇三、八八五・四四

利益金勘定
當期利益金　一六、六八五、五九七・〇八
之ヲ處分スルコト左ノ如シ
科目	金額(円)
法定準備金	一、七〇〇、〇〇〇・〇〇
別途積立金	一、二〇〇、〇〇〇・〇〇
行員退職手當基金	一、一九七、八〇一・〇八
役員賞與金	三五〇、〇〇〇・〇〇
會社經理統制令第二十一條ニヨル行員賞與金	—
配當金及交付金(年八分)	三、九六〇、〇〇〇・〇〇
合同二十周年臨時賞與金	—
後期繰越金	七、二四七、七九六・〇〇

昭和十八年七月
東京都麴町區大手町一丁目六番地六
株式會社 安田銀行
取締役社長 園部潛

電話番號變更
當店電話番號今般代表番號ト致シ八月一日ヨリ左記ノ通リ變更致候間精々御利用賜度此段御通知申上候
電話本局②代表七一五六番
京城府中區南大門通二丁目一〇二番地
株式會社 安田銀行京城支店

京寶劇場　わが本土を狙ふもの・白日・日本ニュース・朝鮮海峽　日曜祭日は午前十一時開場
城寶劇場　わが本土を狙ふもの・日本ニュース・朝鮮海峽
若草劇場　大陸宣撫隊・空襲と救護・朝鮮海峽
明治座　白く・空襲と救護・朝鮮海峽
京日文化劇場　軍犬物語・朝日家庭グラフ・ナチスの新女性・勝利の輸送・日本ニュース　二十九日—四日
城南劇場　日本ニュース・文化映畫・節約夫人・親爺三重奏　三十日ヨリ八月二日マデ
中央劇場　慰問袋・わが本土を狙ふもの・朝鮮海峽　廿九日より八月四日まで
和信映畫部　ワン公の武勇傳・勝利への輸送・山西の土地と民・日本ニュース　日曜祭日は午前十時より
朝日座　篤見龍太郎　二十五日より
桃花劇場　八月一日、二日(二日間)　花歌劇團　納涼公演　國境に散る華・愛國行進曲・歌謠曲・舞踊集
喜樂館　七月三十日ヨリ四日間　日本ニュース・花を科學する・東寶映畫超大作 蛇姬樣
浪花館　三十日より上映　ニュース日本・妻よ何處へ行く・エノケンの江戸子三太
新富座　三十日ヨリ八月二日マデ　日本ニュース・開戰の前夜
東洋劇場　二十一日より　劇團星群・無花果・愛國公債
大陸劇場　第一樂劇隊・第一夏の放送・ばらと旗と
第一劇場　七月卅一日ヨリ　金姬座・樂劇部・女性の道

夕刊
京城日報
京城府中區太平通一丁目三十一番地 發行所 合資會社京城日報社
印刷兼編輯發行人 高宮太平

徵兵制實施感謝決意宣揚大會開く

各戰線に激鬪續く

獨軍戰況發表

【ベルリン卅一日同盟】獨統帥大本營卅一日正午發表

▲東部戰線 一、赤軍は歩兵および戰車部隊を集結オリヨール突出部の獨軍陣地に猛攻を加へて來つたが、獨軍は激戰ののち赤軍に大損害を與へて撃退した

一、クバン橋頭堡ならびにラドガ湖地區でも赤軍は强力な部隊をもつて攻擊を再開、クルムスカヤ西方では赤軍數個師團による攻擊は獨軍防衛線前方で潰滅した、ラドガ湖南方より赤軍歩兵部隊は戰車の掩護下に攻擊を加へ來つたが獨軍はこれを撃退、獨軍陣地に突入した赤軍若干兵力を殲滅した

一、獨軍は過去二日間赤軍戰車百四十八台を破壞した

一、獨潜水艦は黑海において七千トン級のソ聯油槽船一隻を撃沈した

▲シチリヤ島 一、獨軍は中部地區において反樞軸軍に對し、激烈な防禦戰を展開、多大の戰果を收めた、反樞軸軍は新鋭兵力を繰出し數ヶ所で突破を計つたが大損害を蒙つて撃退された

一、樞軸軍は地中海で十六機を撃墜した

一、獨軍はシチリヤに對する反樞軸軍の補給を擾亂、大型輸送船一隻に甚大損害を與へたほか上陸艇數隻に直撃彈を命中、シチリヤ島東南岸のアブオラ港の港灣施設および燃料庫に猛爆を加へた

▲西部戰線 一、反樞軸空軍は三十日白晝ドイツ西部のカッセル市および西ヨーロッパ占領地域の數ヶ所を空襲したほか三十日夜はルール地方のレムシャイド市を爆撃したが獨軍防空陣は攻擊機中六十機を撃墜した、大部分は四發重爆機である

戰車七千擊破

【ベルリン卅一日同盟】獨軍當局七月五日以來の赤軍損害に數につき卅一日次の通り發表した

一、捕虜二萬七千

一、戰車七千臺撃破

一、飛行機二千五百臺以上擊破乃至擊墜

一、死傷者數約十五萬

徵兵進發にけふ全半島沸騰

擧國皆兵の大本昂揚

世界に轟け此の雄叫び

二千五百萬の熱望こゝに叶ひ一視同仁の聖恩、半島の山河に輝いて、けふぞ迎へた八月一日、徵兵制實施感謝決意宣揚大會は國民總力朝鮮聯盟、京畿道、京城府三聯盟の主催で午前九時から京城運動場で擧行、二千五百萬が大君の邊にこそ死なめの一大決意を中外に昂揚した

此の日 京城府内男女中等學校以上の生徒、靑年訓練生約三萬の若き學徒は早朝六時から早くも會場に詰めかけ同八時には武裝の凛々しい姿が運動場の中央を埋めつくし、その周圍には産業戰士、各種聯盟、愛國班員ら二萬が國旗を押したて、卷脚絆、モンペ服裝に勇壯な決意を秘めて開會を待つうちに

小磯總督、板垣軍司令官、田中政務總監、那須陸軍省兵務局長、秋山大本營陸軍參謀、松本海軍武官、川島、中村兩大將、波田聯盟總長らが軍服姿で臨場、つづいて丹下警務、上瀧殖産、大野學務局長をはじめ總督府各局長、李恒九男、韓相龍、伊東致昊氏ら官民代表が參席して會場はこゝに森嚴、緊張に包まつて行く、やがて午前九時、聯盟事務課長中島少佐が開會を力強く宣すれば學徒代表の手によつて會場正面の國旗掲揚台に

日の丸 がするすると揚る、あゝ感激の一瞬、五萬の眼はこの一瞬に熱く集中されて"君が代"の奉唱が城東原頭を揺がすと全員宮城遙拜、大東亞戰必勝祈願默禱を捧げる

ついで宣戰詔書を小磯總裁、徵兵詔書を田中副總裁が奉讀、さらに小磯總裁の訓示にひきつゞいてけふ晴れて徵兵への大いなる進發を激勵して、東條陸軍大臣（那須兵務局長代讀）板垣軍司令官、後藤鎭海警備府司令長官、韓中樞院顧問の祝辭があり、古市京城府聯盟會長が内務大臣、大東亞大臣、教育總監、南次郎大將、帝國在鄕軍人會長等の祝電を披露すれば、これに應へて城大松本佐會君が二千五百萬を代表して決意宣揚文を朗々と讀みあぐれば、會場兩側の東西双方から數百の鳩が一齊に羽搏いて空高く舞ひたつ

これぞけふの感激を喜ぶ放鳩の使である、一糸亂れぬ鳩の群舞が會場の中空を輪く頭を揃いて壯麗の極に達し、五萬會衆の感激は坩堝と化して昂まる、かくて"海ゆかば"を合唱、高京畿道聯盟會長の先唱で皇國臣民の誓詞を齊誦、聖壽萬歳を奉唱した、萬歳々々――五萬の雄叫びは熱く夏空に餘韻をひいてこの響きは南の太平洋に北の大陸に響き渡つた、かくて同九時五十五分盛大盛儀を極め閉會した

スチムソン華府に歸る

【リスボン一日同盟】ワシントン來電―アメリカ陸軍長官スチムソンは反樞軸軍司令官アイゼンハウアーと會談協議ののち卅一日にワシントンに歸還した

國民最高の榮譽

東條陸相祝辭

本日朝鮮同胞多年の熱望たる徵兵制施行せられ茲に全國民擧げて記念行事を實施し得るは邦家の爲誠に慶賀に堪へざる所なり

惟ふに皇國の兵役は國民最高の榮譽なり、朝鮮同胞は今日以後悉くこの光榮を擔ふ、聖慮の稜威に感激に堪へず

戰局は今や愈々熾烈を加ふ、國家の總力を擧げ戰完勝の一途に結集するの要今日より切なるは無し

諸子宜しく今日の感激を胸に刻み皇國兵役の本義と大東亞戰爭の歴史的聖業に仕ふるの光榮とを肝銘し愈々必勝の信念を堅持し報國の至誠を致し以て聖戰完遂に邁進せんことを切望す

一言所懷を述べて祝辭とす

昭和十八年八月一日 陸軍大臣 東條英機

眞に昭代の盛事

内鮮一體の美果擧る

小磯總裁訓示

茲に徵兵制實施記念感謝決意宣揚大會を擧行するに當り、親しく諸子の溌剌たる壯容に接し所懷の一端を述ぶ、これ本總裁の欣快とする所なり、抑々我が國建軍の本義は、畏くも軍人に賜はりたる勅諭に炳乎として明かなるが如く、天皇親率の下、國民皆兵、大義に遵ひ神武を發揚し、宇内に皇威を宣揚して八紘爲宇の神意を顯現し以て天壤無窮の皇運を扶翼し奉るにあり、皇軍を以て神軍となし、皇兵を以て神兵と稱へ、而して之に一身を奉するを以て國民最大の榮譽となす所以茲に存す

今や大東亞戰爭は愈々陸地と海洋とに跨り尨大なる戰線を展べ、敵米英反攻の意圖亦太だ熾盛なるものありと雖も、我には深厚なる大御稜威の下鞏固たる皇軍の武威と渾然相結ぶ銃後一億の結束在るあり、道義の勝利に由り國民の自覺愈々昂まれば以て必勝の公算愈々大ならざるなり

此の秋に當り我が朝鮮同胞宿年の熱願たりし徵兵制は愈々本日を以て施行せられ茲年ならずして其の眞姿を見んとするに至れり、之れ一視同仁の聖旨の下、内鮮間の區別を一掃し、大東亞建設の光榮と責務を俱にせんとするの皆意にして、擧國民の本と内鮮一體の美果此に顯り、國家戰力の發揚に一段の生彩を加ふるに至る、眞に昭代の盛事なりと謂はざるべからず

其の名、其の實既に此に定まる。宜しく之より其の名を辱めず其の實に實あらしめんが爲に内鮮官民の心力を國體本義の透徹に傾け以て半島青少年の資質を彌々彫琢して本制度に有終の美を期するを急務となす。これ本總裁が曩に全聯盟員諸子に親しく熱誠に期して本日の大會を慶祝せしめんと欲する所以に外ならず。冀くば諸子之を勉めよ

昭和十八年八月一日 國民總力朝鮮聯盟總裁 小磯國昭

健兵を無限に生み出せ

半島の傳統は文弱に非ず

小磯總裁放送

おほらかな歷史の日は明けた、けふ八月一日こそ半島人壯丁が雄々しく皇軍の一員として生れ出る日であるのだ、この日半島の津々浦々には湧き上がる歡喜と感激の坩堝と化し、ひたすら聖恩の鴻大無邊さに感泣するのみであつたが、この日國民總力朝鮮聯盟小磯國昭總裁は"朝鮮一般青年も愈々光榮ある皇軍の要員である"と題し、午前六時卅分から京城中央放送局のマイクを通じて全國に錄音放送を行ひ半島壯丁も眞の帝國軍人として必要な常識と基礎訓練を積む必要があると半島同胞の一段奮起を要望した放送要旨左の通り

◇

私は朝鮮の小磯であります。本日朝鮮にとつても將た又日本國家にとつても全く劃期的な意義を有する改正兵役法の實施を見まして朝鮮人青年が内地人青年と同じく皇軍の要員となるの道が法制的に開かるゝに至つた此の喜びの日に於て、全國の皆樣に私の感想の一端をお送り致す機會を得ましたことを感謝致す者であります

朝鮮同胞の愛國心

この朝鮮同胞に對する徵兵制の實施といふことは私の總督拜命以前、即ち昭和十七年五月に、昭和十九年度より實施するといふことが閣議に於て決定を見、御裁可を經て發表濟と相成つてゐたものでありまして、私は拜命就任するや否や、事の極めて重大なるを思ひ直ちに愼重な心構へを以てこれが實施に關する諸準備に取掛つたのであります

それと申しますのも朝鮮同胞は特に支那事變此のかた非常に盛んなる愛國心をいろいろの機會と形とに於て發露致しまして其の皇國臣民たる意識と覺悟とは洵に立派なものであることを示したものでありますけれども、[illegible]布かれて居らず、昭和十九年に於て適齡に達する成年男子の凡そ半數程度が國語を解さないと推定される狀態でありますから何を措いても先づ徵兵檢査を受ける前に一ト通りの國語を習ひ覺へさせる必要もあり、別して帝國軍人として必要な一應の常識や基礎訓練も必要であるし、その父兄や母親連に對しても皇軍の本質に對する認識を貯ふ必要があるといふ樣な次第で、指導上相當な苦心を拂ふべき仕事が次から次にあつたのであります

積年の願ひを達成

もとく朝鮮にも徵兵制を布いて貰ひたいといふことは朝鮮同胞の積年の願ひでありました、國家が斯樣な大戰爭をやつて居る際、同じ日本國民であり乍ら、朝鮮人だけが血も流さず何の犧牲も拂はずして戰爭の結果たる勝利の榮譽のみを分たるるといふことは良心的に忍び難いといふことが心ある人々の間に支那事變の初めから考へられて居たのであります

その眞摯なる熱意に應ふる爲特別志願兵の制度が昭和十三年春から實施され、爾來年々その數を增加して今日に至つたのでありますが、事大東亞戰爭に進展した以上何としても志願兵では滿足ができない、是非共内地人と同樣の資格をもつて米英に當りたいといふ熱望が澎湃として朝鮮同胞一般の間に起つて來たのであります、故に昨年徵兵制實施の決定が發表せられますや擧つてこの事を待望してゐた朝鮮同胞の間からは、非常に熱烈な感激と感謝とが表現せられ、内鮮人共々に『内鮮一體』といふことが既に此處まで來た』と云つて喜びを分ち合つたのであります

特別錬成頗る良好

然るに今申す如く未だ教育の狀態、國語普及の狀態等が巧く行つて居りません、是に於て總督府は朝鮮軍と協力して徵兵制實施準備委員會なるものを設け、之に備ふる行政機構の充實とか、不完全であつた戸籍の整備とか、一般に對する認識の徹底とか、諸種の必要な準備を進めまする一面、朝鮮靑年特別錬成の法令と機關とを設け兵役法實施の場合壯丁となるべき者にして初等教育を受けて居ない者に對する特別錬成を全鮮に亘つて行ふ外、內地、滿洲、北支等の各地に於ても開始されたのであります

然るに昨年十二月開始以來、半歳餘を經過致しました成績は非常に良好でありまして、いろいろの困難にある青年達が一日の勞苦をも忘れて國語の習熟ばかりか元氣を發揮して居る姿を見まする場合、甚だ强くして彼等の前途に曙望を寄せざるを得ないのであります

内鮮は"同根同祖"

歷史を溯ぼつて考へますれば、内鮮の關係は古來非常に密接なるものがあります。誰も知る素戔嗚尊が御子五十猛命と共に新羅の曾尸茂梨にお在でになつたことや出雲國引きの話、また朝鮮側から申せば新羅第三代の脱解王や[illegible]の祖先が内地から渡來の人々であつたとの定說その他神代以後内鮮の間に共通する各種の傳說を始め、今に殘る風俗、言葉、習慣、地下より發掘物等をも綜合して考へますると、内鮮の同根同祖の說も相當に强い根據を有つて居ることは既に今日の常識と申すべきでありませう、殊に我が上代はその頃新羅が朝鮮に及んだこと、また三韓の歸化民が後から後からと内地の良民となつて、近畿地方の名族の約三分の一が之等を以て占められ、東國地方へも盛んに植民せられたことなどは歷史に明白な所であります

然るに我が中世以降朝鮮は多く大陸政府の影響の下に立つに至り新羅末頃迄密接であつた內鮮の關係も明治に到る六七百年の間稀薄となる外なかつた結果、恰も全くの異民族でもあるかの如き觀を呈するに至つたのであります。民族とか文化とかいふものがその生活環境の變化によつていかに外觀內容を變じて行くかといふ問題を考へさせられる事實であらうかと存じます

歷史の必然的宿命

斯樣な過去の歷史を知つて今日の朝鮮に對しますれば、明治四十三年明治天皇樣の皇謨によつて行はれた韓國併合といふことは、全く不自然に離れて居た二つのものが元の自然の姿に還つて一體となつたものであつて、之れ取りも直さず眞意に出で、天意に則り、歷史が必然的な宿命の歸結に適したものに過ぎないといふことが申せるのであります

左樣でありますから隔つてまた今日此の時局の下において朝鮮同胞の旺盛なる愛國心を反映し、一視同仁の聖旨によりまして徵兵制が實施さるゝといふことにも亦いとくと神慮の作用が含まれて居ることを感得致すのであります

爭はれぬ血の流れ

朝鮮同胞の靑年が內地人と同樣に大君の御楯、國家の干城となる場合に當り、唯一つ識者によつて懸念さるゝことは、その傳統中に尙武の氣風が乏しくはないかと考へらるゝ點であります

即ち朝鮮の歷史傳統の中特に李朝五百年の間、儒教を以て國教とされた關係から、有名な宿學などが現はれて文教が興つた反面に滔々として文弱の弊に陷り、人は『私の手腕には勇敢であるが、公の勝には怯儒である』と評せられる樣な習性を馴致せられ、また支那式に『良き鐵は釘にはならない、好き漢は兵に當らない』といふやうな兵を卑しむ觀念も儒教を通して朝鮮の社會に傳へられたのでありまして、我が國の光輝ある國民皆兵の本旨が果して其の儘に理解せらるゝかどうかに就ては私共も一應の心配なきを得なかつたのであります、併るところ一般の動向を檢討致しますれば、流石に內鮮同源と言はるゝ血の流れに背かせらるるものがあります

新羅時代には花郎道といふものがあり、恰も内地の武士道の如く社稷を護る青年子弟は文武の道を勵んで鍛錬これ力めたことがあるのを更に喚び起して朝鮮人必ずしも文弱のみを傳統とするものでないとの誇りに立つて徵兵制を迎へんとする青年等も少くはありません、又朝鮮も三國時代以前には、勢盛んにして半島から大陸方面にまで武威を振つた事績もあるのでありまして、決して文弱がその眞の傳統に非ざることが理解せらるゝのであります

そのことは又過去五年來實施して來た志願兵制度の成績中にも窺はる所でありまして『或は高く大いなる中心に向つて己れを顧みず』し、滿身の感激を以て事に當る場合、朝鮮人青年も亦堂々と死地を踏んで畏れざる天晴の武夫たるべき本質を有するものであることを信じ得たのであります

内鮮官民を總錬成

是に於てか、朝鮮同胞の凡てが我が世界無比なる國體の本義に透徹し、皇道を中心とする燦爛なる日本的世界觀を以て四周の世界に永劫擴らざる道義的秩序を建設せんとする此の戰ひの本質を知り、而して大東亞全民族に代つて神武の"み軍"を進めつつある我が皇軍の意義を理解するに至りましたならば當然茲まり來る朝鮮社會の雰圍氣の中より、必ず內地人に劣らざる健兵の群を無限に生み出すことであらうことを疑はないのであります

斯る如く朝鮮新興における現下最大の眼目は國體本義の透徹と之に由つての道義朝鮮の確立とでありまして、之が手段として徵兵制に備ふる青年特別錬成に周到を期する外、内鮮官民を擧げての總錬成を行ひ、依つて以て盛り上る澎湃たる精神の力を戰力增強の凡ての部門に注ぎ込まんと努めつゝある所以であります

日本人のたしなみ

今日朝鮮同胞の内地にある者數十萬、滿洲、北支にある者また百數十萬、朝鮮内にある者を加へて總數實に二千七百萬と相成るのであります、内地人口の三分の一を超ゆるのであります。この人口の量に加ふるに其の質の向上を以てせんか、國家が大なる威力を加ふるは明かであります。この度の徵兵制度實施を契機となし、彌々皇國臣民たる修養錬成を經て其の心境に內地人と何等の徑庭なきに至らんことはこれ私の至上念願とする所であります

此の場合此の愛すべき弟たちを心から愛愛し、之を指導錬成して紛れのないまでに育て上げることは兄分に當る内地人としての當然の務めでなければならないと同時に、朝鮮同胞としては[illegible]面に生じ勝ちなる不明朗なる小感情を抑制して何處までも謙虚に、日本人としての『たしなみ』を身につけてこの度の光榮に伴ふ責任を自覺することによつてぐんぐん己れを磨めて行くことに努力すべきは申す迄もありません

先輩の勞苦に感謝

ここに、けふの記念放送を終るに當り、畏くも大詔を賜ひ過去三十有餘年の間一視同仁の御聖旨を共々に感銘しますると共に、併合以來朝鮮の開發に心血を灑がれたる幾多先輩の御勞苦に對して感謝の誠を表はし、また一般の皆樣が今日の盛事を通して朝鮮の現狀とその國家的使命の重要性に對し十分に認識を新たにせられんことをお願ひ申上げる次第であります

誓つて國家の干城に

學生生徒代表決意を述ぶ

八月一日京城運動場で擧行せられた徵兵制實施決意宣揚大會に於て學生生徒代表は左の決意文を朗讀した

◇決意文 大東亞戰爭決戰の秋兵役法の一部改正せられ半島同胞に對し大君の御楯たる榮譽と光榮を賜ふ 聖慮無邊感激何物かこれに過ぎん我等益々心身を鍛錬し學業に精勵し至誠奉公誓つて國家の干城となり以て聖恩に應へ奉らんことを期す

昭和十八年八月一日

徵兵制實施感謝決意宣揚大會 學生々徒代表 京城帝國大學學生 松本佐會

寫眞は決意文を朗讀する城大の松本君

光榮に感奮興起

板垣軍司令官祝辭

時至りて茲に昭和十八年八月一日大東亞戰爭決戰の秋に際し二千五百萬朝鮮同胞に對し愈々徵兵令を施行せらる、一億同胞齊しく慶祝し朝鮮の津々浦々その光榮に感激せざるはなし、茲に城東に地をトし閉揚

さきに陸軍特別志願兵制度の創設を見たるは即ちこの聖旨の發露に外ならず、爾來數年を經ずして徵兵制の施行に際會し皇國民最高の榮譽に浴せしめらる、これもとより叡聖文武にわたらせらるゝ天皇陛下の宏大無邊の聖徳の致す所なりといへども皇國臣民たるの修練と實踐との實を顯揚すべく精進を重ぬる中なる朝鮮同胞の忠誠よく今日の榮光を擁ふに到らしめたるものと信ず

惟ふに國民皆兵はこれ古來より傳承せる皇國兵制の本義にして皇軍は實に臣民の皇謨を翼贊し皇道を四海に宣布するを以てその任とする一億臣民擧りての御兵なり、畏くも天皇親率のもと身を挺して國難に殉じ七生報國の誠を致すはこれ皇軍の神髓とするところ百戰不撓して勝たざるなきは實に此處に由來す

今や朝鮮同胞選ばれて光輝ある皇軍に列せらる、その國民的至大の榮譽を享受せる同胞の感激何ものかこれに如かん、朝鮮同胞よくわが建軍の本義を體し光輝ある皇軍の傳統を顯揚すべき重大なる責務を自覺し皇國に奉ずるとともに益々皇國民たるの矜持を持し民兵たるの資質の錬磨に邁進しその總力を擧げて敵米英を殲滅して以て聖恩に應へ奉るべきなり

本日茲に列し全鮮に徵兵制施行を慶する朝鮮同胞の崇高不屈の決意を感受し感激禁ずる能はず即ち所懷を述べて以て祝辭とす

朝鮮軍司令官 板垣征四郎

伊北部の情勢依然緊迫

DNBの報道

【ベルリン卅一日同盟】イタリー北部地方の情勢は依然極度に緊迫してゐる模樣であるD・N・B通信のヂャツソー特派員は卅一日次の通り報道してゐる

トリエスト守備隊長司令官フエレロ將軍は卅日布告を發し一般市民に對し四十八時間以内に一切の武器彈藥を供出するよう指令した、さらにゼノバ軍管區司令官は一般市民の武器携行を禁止した、イタリー北部の農民が情勢の不安を奇貨として農産物の供出に應じないためにトリノ軍管區司令官は農民に對して即時農産物を供出しないならば嚴罰に處する旨通達した

チアノ伊大使辭職

【ベルリン卅一日同盟】ローマ放送バチカン駐剳イタリー大使チアノ伯は卅一日辭職しイタリー皇帝エマヌエル三世は右辭表を受理したといはれる

銃後ノ護リ 眼ノ護リ

學堂眼鏡店

京城本町二丁目 電話本局（2）[illegible]

皇軍の眞髓繼承

後藤司令長官祝辭

今般我が國兵役法の改正に依り新に半島同胞男子に對し徵兵令の施行を見るに至りたることはこれ偏に一視同仁の聖旨の顯現にしてこれを以て正に半島の感激措く能はざるところなり

顧みるに始めて昭和十三年特別志願兵制度を創設せられて茲に五年、其の間半島靑少年の皇民錬成は逐年其の成果を擧げ或は出でて支那大陸の野に赫々たる武勳を樹つるあり或は止りて陸軍下士官學校に入校し抜群の成果を顯示するあり特に今次大東亞戰爭開始以來全半島に溢れる兵役志願の熾烈なる赤誠は遂に今日此の榮譽を招へり聖慮之に過ぐるもの無し

徵兵令が我國に布れて茲に七十有餘年我皇軍は幾次の戰役を經て陸に海に空に光輝燦然たる戰史を綴り輝しき勲の記録を止め我等先輩將士は殉國忠勇義烈の偉功を建て世界に比類なき皇軍魂と其の眞面目を發揚し來れる所以はこれ實に我將兵が[illegible]を奉體し確乎不拔斃れて後止むの軍人精神を涵養し一度戰場に起つや常に決死の下[illegible]なるの忠誠勇武敢闘の賜に外ならず、而して今又我皇國は國家の總力を擧げて宿敵米英擊滅の聖戰に臨み而も今年此の秋戰線に起つ我等が同胞は所謂死力を盡し熾烈なる決戰に突入せんとす、凡そ生を我が皇國に享くる男子たるもの曰く戰局の現機に報いるこの秋を措いて何れの時かあらんや

然り而して近代戰の特質は各國相競ひ科學力の精華を盡し物資力の極限を盡して戰爭を支持する機構を呈しありと雖も人的資源は時に其の量と質に於ける優劣が戰局を決し其國戰略は其綜合戰力の優位を把握し戰場に表はるゝ敵を常に破碎殲滅する皇軍の雙肩に課せられたる責務は今日より大なるは無し、されば皆されて皇軍に加はる靑年諸子の成否如何は獨り半島全同胞の榮譽に關するのみならず、此の非常時局下これ直に我國家戰力を左右すべき重大なる影響を及すべきを深く銘記し擧民一致して赤誠なる我皇軍の傳統を眞に體得し世界に比類なき精強を誇り來れる我皇軍の傳統を繼承し得るに足るべき靑少年諸子の錬成向上に其の臣節を完うし以て皇運を扶翼し奉らんことを期し聊か所懷を述べて祝辭とす

昭和十八年八月一日

鎭海警備府司令長官 後藤英次

ムッソリーニ前首相へ

ヒ總統が贈呈ーチエ全集

【ベルリン卅一日同盟】ファシスト黨の解體以來ムッソリーニ氏の身邊については種々の臆測が流布され且D・N・B紙のローマ電報が大評議會員は一名を除き全部保護檢束を受けてゐると報道したためムッソリーニ氏は當然逮捕されたと推定されてゐたが、ドイツ外務省筋では卅一日正午次の通り述べた

ムッソリーニ氏六十歳の誕生に際しヒ總統は百八巻のニーチェの全集を贈つたが右贈物はゲーリング元帥がムッソリーニ氏に傳達した、しかし何所で傳達したかについてはドイツ外務省筋で一切説明を避けてゐる

B5―18

姙産婦に

パナギンフルート

人蔘肉汁

[illegible]

文獻進呈

東京市日本橋區本町三 大正製藥[illegible]

大君のもと命捧げん

盛夏八月の炎天と燃ゆる殉國精神を競つて八月一日、半島若人は無敵皇軍の勳を共に擔つて晴れがましくも醜の御楯と起ち出でた、半島同胞にも齊しく徵兵制布かる—八紘一宇の光輝に輝いて茲に卅有四年、全き皇民の資格を獲得した若武者半島は昭和十八年八月一日を期してめでたく元服したのだ、蒼空に清冽な翻破を揃いて日章旗が踊へつてゐる、見上げる半島同胞の燃える瞳はこの旗の下に皇兵として死し得る決意と自信とに滿ちてあくまで强い、若けますらを、進め半島同胞世界に比なき皇軍の光輝ある歷史と傳統とはけふより君等のものなのだ、この目出度き慶びの朝、蒼地半島は戶毎に國旗を揭げて感謝を捧げた、神社神祠のあるところでは總力聯盟主催の下に徵兵制實施感謝奉告並に必勝祈願祭を擧行、また感謝決意宣揚大會を開いて半島壯丁の旺なる首途を祝し激勵の諸行事を擧行したが、京城では先づ午前七時五十分半島の鎭め朝鮮神宮大前に小磯總督、板垣軍司令官、陸相代理那須少將、前朝鮮軍司令官中村孝太郎大將以下軍官民、學校長等各代表が參列、感激こめて徵兵制實施感謝奉告並に必勝祈願祭を擧行、次いで午前九時からは京城運動場に男女學生、生徒、青訓生、各種聯盟、町會聯盟員參集して徵兵制實施感謝決意宣揚大會を開催殉國挺身を誓つた、それより男女學徒は朝鮮神宮に向つて步武堂々の街頭行進を起せば街には慶祝の花電車が疾走して彌が上にも慶祝氣分を添へた、夜は府民館に講演會を開催、この佳き日の爲に特派された大本營陸軍部秋山參謀の『現下の時局と徵兵制に就て』と題する講演があるなど終日徵兵制實施の感謝と感激との聲歌を吐露したのであつた

瑞雲垂る南山の聖域
感激のけふを完勝祈る人波

嚴かに感謝奉告 必勝祈願祭

〝皆兵〟の黎明と感激に全半島を包む八月一日の歷史的な祭典の朝はおほらかに明けた、瑞氣は南山の聖域に低く垂れ朦朧のなかにこつこつ…と石階を登る群集の足音もすがくしく二千五百萬蒼生の赤誠はこゝに凝集したかのやう、やがて小磯總督、板垣軍司令官等の自動車が威勢よく參道を登つてくる、こゝ朝鮮神宮の境內はけふの喜びを感謝し完勝を祈る人々で埋つてゐる午前七時五十分

小磯總督、板垣軍司令官、田中政務總監、波田副總裁長、高京畿道知事、古市京城府尹、中村孝太郎大將、角倉宮內省賑務課長、那須少將、井原朝鮮軍參謀長、倉茂同兵務部長、松本海軍大佐、李垠祖氏、篠田城大總長、李恒九李王職長官、韓相龍氏、尹致昊氏、倉茂稀中樞院參議、本府各局長、各專門、中等學校長等約二百名は拜殿に參列

國民總力朝鮮聯盟、同京畿道聯盟、同京城府聯盟主催の『徵兵制實施感謝奉告並必勝祈願祭』は嚴かに執行された、修祓の儀に次いで越天樂の莊嚴なる奏樂の裡に獻饌あつて齋主額賀宮司神前に參進、祝詞を奏上、次いで小磯總督、板垣軍司令官、田中政務總監、波田副總裁長、高京畿道知事、古市京城府尹、陸軍大臣代理那須少將、文官代表上瀧遞信局長、陸軍武官代表倉茂少將、海軍武官代表松本大佐、李恒九李王職長官、貴族代表李軫鎬氏はそれぐ神前に參進、恭しく玉串を奉奠、徵兵制實施を感謝奉告すると共に聖戰必勝を祈る、やがて再び起る奏樂のうちに撤饌、參列者一同退下し同八時廿五分、感激の祭典を終つた

献金に託す赤誠
壽松校の職員生徒が本社へ

京城壽松國民學校生徒代表六百名は一日の大なる榮光の日を迎へて午前九時廿分本社を訪れ感激の寄託金を獻金、一方生校長に引率された月山大守君他四名は全校生二千四百名を代表して幾てから醵出した五百圓を徵兵制實施記念事業資金の一部にと本社に寄託した【寫眞=本社前で壽松國民校生の獻金】

誓ふ決戰生活
羅南の行事

【羅南電話】徵兵實施の感激に沸きたつ一日軍都羅南では朝未明羅南神社に參拜者踵を接してひきもきらず聖戰貫徹の決意を誓ふ力强い風景を展開した、先づ午前八時各官公署團體、學校青訓其他愛國班員多數神社大前に參集、徵兵制實施感謝決意宣揚の奉告祭を擧行古川知事、池田兵事部長以下それぞれ玉串を捧げて決意を堅く誓ひ終つて神社大前廣場で、聖戰貫徹必勝決戰生活實踐を誓ふ宣誓式が、力强く行はれ、引續き樂隊を先頭に街頭行進に移り全市內を徵兵實施感激の一色に塗りつぶした

小磯總督以下拜殿に參入

津々浦々に歡喜の嵐

大田

【大田電話】夜が明けた、長い夜であつた、半島二千五百萬民草がこの夜明けを如何に熱望したことか、偉大なる夜明けは遂に來た、今や半島の健兒達は皇軍と肩を並べて堂々の進軍を行ふのだ、永却に輝く徵兵制施行の一日、大田八萬府民の歡喜と感激の坩堝は先づ朝ぼらけの大田神社に凝發した、征け半島强兵・感激をとよもす朝焼映える大田神社の神域には若き半島の大なる進發を祝福する感謝で充滿してゐる、ペンく皐の警鼓家に翩翻と翻へる日の丸も心なしか一際鮮かに輝く、午前六時神社の大前に集つた群はこの日の歷史的感激に息詰らせて黙然として聲なし、半島民草の卅有餘年に亘る希望の聲は遂に酬いられたのだ

何んたる致實、班旗を高く押し立てこの盛儀に馳せ參じた愛國班員の足取りも平常に翻つてゐるとも輕快である、官公署職員民各團體の感謝と決意によつて徵兵制實施感謝奉告並に必勝祈願祭は嚴かに盛大に執り行はれたと共に嚴々しい武裝のいでたちで步武堂々の祝賀分列を以てこの日の感激に備へる青年特別鍊成所の鬪突は日頃の健兵强兵の決意を覗く嚴肅にしてある、これに應へる日本人の觀衆と共に北村府尹の頌も晴やかだ、かくて兵への感激に沸き立つ市中は軍國一色に塗り潰され無上の光榮に何時までも沸いてゐる

春川

【春川電話】二千五百萬民衆が待ちに待つた感激の日……世紀の徵兵制實施の一日を迎へてこゝ春川でも當く感激の渦大無邊なるに感謝感激正にその頂點に達し四萬邑民を擧げて愈々挺身必勝の信念を强固にするとともに、擊平米英擊滅の決意に燃え、見るからに逞々しくも晴々しい風景が漲る

この朝早くも感謝に滿ちた町並は日の丸の國旗に彩られ薫風を孕むそのはためきも一入風勢よくその中を光榮と歡喜に溢れる住民は三々五々まで神社參拜に始まりついで歷史的數々の行事を繰展げた、午前七時の宮城遙拜も當日頃より一層嚴肅に行はれ同八時から江原神社大前において感謝奉告並に必勝祈願祭が柳生知事をはじめ軍官、各官町聯盟、學校、青年訓練、青年隊代表等參列の下に嚴かに執り行はれ

續いて道郡邑聯盟主催感謝決意宣揚大會が開催され、宮城遙拜、國歌奉唱、必勝祈願についで宣戰の詔勅、徵兵に關する詔書を奉讀した後、柳生道聯盟會長の烈々たる式辭及び春川兵事部長横手中佐の……引續き中等學校生徒、青訓、青年特別鍊成所生徒が參加して閱兵分列及び街頭行進が驛前から壯觀に展げられ、午後に入つては一時から春川體育振興會主催の相撲大會が綠邱國民學校々庭で又午後三時には乘馬隊並に自轉車隊の街頭行進があり、溢れる歡聲は止むるところなく米英擊ちてし止まむの決意を昂揚して感激の一日を送つた

光州

【光州電話】半島青年が待ちに待つた徵兵制實施の八月一日、多年の宿願叶つた全南では、管內山漁村の隅々まで……

下に午前九時を期し府內の愛國班員一萬餘名が光州神社大前に集合、武永知事、小松府尹を初め各種聯盟の幹部、學校代表が參列嚴かな祭典が執り行はれた 引續き光州神社下の廣場において感謝決意宣揚大會の幕を切つて落し

式は先づ國民儀禮に始まり、この日の盛儀を讃へる武永知事の告辭があり、次いで宣言文を古海產業部長が朗讀、關係各方面に發送する感謝電文の取纏めがあつて、一同皇國臣民の誓詞を齊唱、武永知事發聲で皇國萬歲を奉唱、この日の祭典を燃えるが如き感激のうちに終了、それより大會に參加した男女中等學校生徒、青訓、青年隊、國民學校兒童等の街頭行進に移り全府を感激の坩堝と化した

清津

【清津電話】八月一日今日ぞ半島二千五百萬同胞の歷史的壯觀であり世紀の感激を祝ふ待望の日、廿五萬府民の盛りあがる感謝と喜びをこめたる多彩な行事がどよもす歡呼の中に行はれた、まづ午前八時から清津國民學校の校庭奉齋殿大前に於いて青訓特別鍊成所、青年隊、適齡者、中堅少年團、婦人會、警防團、在鄉軍人會員、各種聯盟員、國民學校兒童、海事理事長、愛國班長、無慮一萬の參列者は國旗、校旗、聯盟旗を先頭に參列して嚴かなる奉告祭・必勝祈願祭を執行、引續き同九時から決戰生活實踐徵兵宣誓式を擧行更に十時から感謝決意宣揚大會に移り、まづ國歌の合唱に始まり宮城遙拜、默禱の後徵兵の詔書を奉讀、感謝宣言、皇國臣民誓詞齊唱『海ゆかば』合唱萬歲奉唱あつて全府民の歡喜と感謝と烈々たる敵擊滅の決意をこめたる蘇ひを終つた、かくて十時卅分より青訓、特別鍊成所生、青年隊、中等學校生徒隊、國民學校兒童五千名の勇壯活潑なる分列行進並に閱兵が行はれた

あゝ我に譽の軍門
〝徵兵半島〟世紀の雄叫び
感謝決意宣揚大會

三萬學徒の鐵脚が地軸を搖がして進む、みよこの一大進發を、きけこの胸の高鳴りを、きりつと八文字に結んだ口のもと、しつかと握つた銃と日の丸—一日、徵兵制實施感謝決意宣揚大會につづいて午前九時五十五分から京城運動場で男女中等學校以上學生々徒からなる分列行進はけふを晴れて召される日を迎へた徵兵制に起ちあがる半島若人、熱血そのものゝ姿であつた、會場中央から直ちに右翼より隊形を崩し、校旗を先頭にトラックへ進發した分列行進は、同德高女隊を先頭とする女學生隊が先づけふの感激を彌がうへに向上させる、日の丸を片手に一歩々々と灼熱の大地をふみつけて進めば、壇上高く起つた小磯總督は之に應へて擧手の禮を送る、やがて男子學徒部隊は城大隊を先頭に着劍、執銃の武裝行進を起しこれにつづいて城大豫科、高農、普專など大學專門校、さらに中等校生が日ごろ訓練の成果をこゝに發揮して軍國學徒の威容をほてる、これに絕えず沸きあがる拍手の嵐と歡呼の聲が世紀の感激をかもし出すのだつた、スタンドでは男の子の孫の手をひいた半島老媼がモンペの腰から手拭をとつて眼に泌む涙をさつとふくと、男も女も若きも老も、スタンドを埋めつくした二萬愛國班員は若き學徒の力强き鍛錬さに限りなき信頼の熱き眼を送るのだつた

大邱の分列行進

【大邱電話】半島同胞を感激と感謝のうちにとりまく徵兵制實施の八月一日大邱では道府聯盟共催で午前八時半から大邱神社大前に於て高尾道聯盟會長以下官民約五千名參列のもとに徵兵制實施感謝決意宣揚大會を擧行した、大會に先立ち先づ大東亞戰爭必勝祈願ならびに感謝奉告祭を八時から執行、それよりいよいよ宣揚大會に入つた、同大會終了後は全員神社を出發、府內行進に移り驛前から中央通にかけて勇壯な分列行進が起され、續いて祝賀が行はれ同十時半過ぎ意義深い行事の幕を閉ぢた

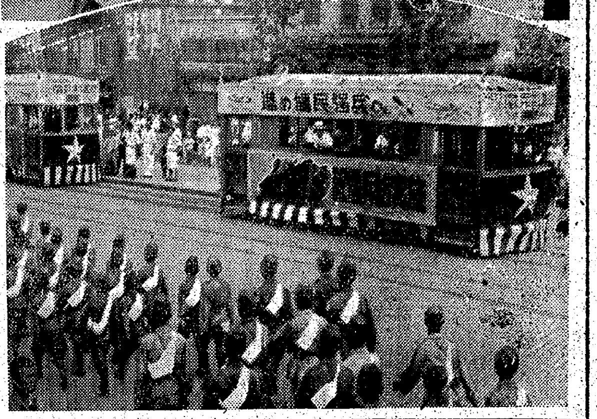
進軍する〝銃劍の林〟
三萬學徒、歡呼の街を轟く行進

灼熱の炎天下、銃劍の林が市內を進軍する、ちぎれるほど振りまはす旗の怒濤に大京城は感激に渦卷く—青史に輝く世紀の巨步を踏み出した日、八月一日はおほらかに明けて歡喜の爆風に包んだ、この日の朝京城では大學、專門、中等七十一校三萬學徒が京城運動場で分列行進を行ひ、十時から市內行進に移つた、男子部は卷脚絆、威風堂々身を固め銃劍を肩に、感激に紅潮させて城大生を先頭に步武堂々と運動場をあとにし、他校の健兒も續々と長蛇の列をつくり大きくうねり續いた、ブラスバンドのリズムが朗かに響り武裝部隊の口から流れ出る〝勝つてくるぞと…〟の歌は力强く周圍を壓する、東大門から鍾路通を直進和信前を左に曲り、黃金町入口から左折して永樂町の十字路から櫻城台の裏參道に登り神宮に額き各自歸校、なほ女子部は同德高女を先頭にモンペ姿も凛々しく國旗を振り黃金町六丁目から永樂町十字路より裏參道を經て參拜して歸校したが、行進の沿道には愛國班の老いも若きも、男も女も、少國民も手に手に日の丸を振つて萬歲萬歲の歡呼が舞るく新世紀開道の息吹きを感じつゝ感謝感激に眼頭の熱するのをおぼえつゝ大京城は正午まで旗の波に搖れた

記念繪葉書を贈呈

徵兵制實施の感謝を繡めて丁子屋百貨店では三日から地階皇軍慰問品賣場で慰問用品買上げの向に對し美麗な徵兵制感謝記念繪葉書を贈呈する

メガネは村木



寫眞‖三萬學徒堂々の市街行進(上)と京電の花電車

喜びに沸く新義州

【新義州電話】徵兵制實施の感激に沸き立つ八月一日新義州では午前十時から平安神社で高原知事、岩城憲兵隊長、高川府尹外各種團體、各團體代表等參列裡に徵兵制實施感謝奉告並に必勝祈願祭を執行、今日この感激に應へ必勝へ挺身せんことを神前に誓ひ、感激は町の隅々にまで湧きあがつた

〝星章〟煌めく花電車
徵兵進軍歌高らかに驀進

徵兵制實施に沸き上がる百廿萬府民の歡喜に應へて京電運輸部ではこの日絢爛豪華な徵兵感謝花電車三台を街頭に贈つた

電車の前部には殉國軍人の墓型が飾られ、半島同胞の感激を一段と呼起し、〝祝徵兵實施〟の祝賀幕も華々しく午前十時を期して第一回目の街頭運轉を行つた 先頭を走る電車には京電吹奏隊が名の徵兵進軍歌が車內から街頭へ高々と吹き渡り、あとの二台は乘客用として感激に胸躍る府民を運ぶ、東大門車庫を出發、黃金町六丁目から黃金町入口を右に廻つて鍾路和信前を右へ折れ、さらに鍾路驛へと走り、萬歲くの旗の波に包まれた街を縫つてけふの徵兵制實施を限りなく祝賀した、尙この花電車は正午、午後三時、同六時の前後四回に亘り感激に湧き立つ百廿萬京城の街頭を飾つた

咸興神社で必勝祈願祭

【咸興電話】待望世紀の朝に明けた一日、二千五百萬の民衆もまた皇軍の一員として晴れのお召しにあづかる日が來たのだ、この日この朝、大いなる喜びと感激に燃えた咸興府で光榮燦と輝く徵兵制の發足を慶祝すると共に一死報國の誓志を誓ふ決意の國旗が戶毎に翻へる、先づ午前七時咸興神社大前で感謝奉告祭と必勝祈願祭を嚴肅に執行、我等醜の御楯たらんの固き決意を神前に誓つて引續き八時から咸南中學校々庭で徵兵適齡者を初め青訓、青年隊、中等學校生と、各町聯盟員一萬五千餘名參列のもと感謝決意宣揚大會を擧行終つて堂々閱兵分列と市街行進を行ひ篝火と燃える誓志の血潮を傾けて鴻大無邊なる聖恩に應へ奉つらん決意を固くく結び合ひ同は感激にどよめき萬歲の風と轟く徵兵への逞しき軍歌の響きにうもれて慶祝徵兵制の一色に塗りつぶした

日赤救護看護婦合格者

先般日本赤十字社朝鮮本部で募集した臨時救護看護婦生徒の採用決定者は左の通り（番號順）財部國、石田ミサコ、片淵ハツコ、佐藤里子、井塚八子、秋鹽ミチエ、宇根菊子、仲尾十三惠、河津ミトキ、田中フキノ、小林顯香、池田ツボミ、高野トシ子

淋巴腺結核（るいれき）
弱い方には「瘰癧專門藥」が好適です！
腺病質 頸筋、腋窩、鼠蹊腺、腺胸淋巴腺等のグリグリに惱む人は、新聞名記載早速お申込下さい。本舗で瘰癧がとれ、見違ふ程の健康を迎へたお知らせが澤山あります。年齡と病狀を認め、切手卅錢封入の方には、卅五錢の試藥に詳細說明の冊子『瘰癧の歷史』を添へ、別名で送ります
瘰癧專門藥院研究部 電話一〇八三番

朝鮮映畫製作株式會社第一回作品 社團法人朝鮮映畫配給社提供
全府の話題をカツ浚つた感涙の名畵！
朝鮮海峽
絕對四日迄
京城中若明
劇寶央草治

御挨拶
朝映第一回作劇映畫『朝鮮海峽』ノ上映ニ際シテハ特別ノ御觀賞ヲ賜リ奉深謝候 就テハ八月一日ヨリ朝鮮ニ於ケル世紀ノ祝典タル徵兵令施行祝賀ノ爲同劇出演ノ俳優一同上映館ノ舞台上ヨリ御挨拶申上候間絕大ナル御聲援賜ハリ度此段奉懇願候
自八月二日 至八月四日 挨拶俳優
金信哉 洪淸子 金一海 文藝峰 金素英 南承民
挨拶時間 明治座 若劇 城寶 京劇 中劇 午後三時五十分 三時二十分 三時十分 四時十分……同八時 同七時二十分 同七時四十分 同八時
八月一日 朝鮮映畫製作株式會社

結核の豫防と治療に
發育期の補强に（特に虛弱體質に）
姙產婦、乳幼兒に
コロイド性カルシウム劑
ビオカルク
コロイド製藥株式會社 大阪道修町
150

一般高級玩具
在庫豐富乞御照會
新東公司 京城府大平通二ノ 玩具部 電話②八四二四番

增產だ增產だ
生產戰は
銃後の勉めだ
必勝への貯蓄
株式投資
朝鮮證券取引所 京城府明治町一ノ三
山本源作商店
代表電話本局五一九一番

西原產婦人科
電話（龍山）一〇三五番

右者不都合ノ廉有之七月三十一日附解雇仕リ候間爾今本人ト當社トハ何等關係無之候
京城府中區南大門通二ノ三
昭和精工株式會社
梶原末松

勝ち拔け勝ち拔け
連續決戰を
先づ以て朝鮮證券取引所の新發足を祝す新發足目標は一つに證券の國民化により連續決戰を勝ち拔くにある
白井商店

朝鮮證券取引所